

つながる  
ひろがる  
校友コミュニケーション

# 桜縁

おうえん

No.

24

日本大学校友会  
会報誌  
2014.1



特集



# 笑 う門には 福来る



# 桜縁おうえん

日本大学校友会会報誌  
2014.1 No.24

## C o n t e n t s

2 気仙沼だより  
三陸新報社記者 守 竜太さん

4 NU Scope  
運動部紹介 スキー部  
サークル紹介 ストリートダンスサークル「MILD HEAVEN」(生産工学部)  
キャンパスの人気者 石田 房枝さん(大学院松戸歯学研究科)  
留学生紹介 ポムマジャン・ソーラシんさん(大学院理工学研究科)

10 特集  
**笑う門には福来る**  
開演 「初天神」の舞台を歩く  
第一幕 落語の魅力語る  
落語家 春風亭 一之輔さん  
仲入 寄席へ行こう  
第二幕 「笑い」を作る、「笑い」を生かす  
放送作家 元祖爆笑王さん  
第三幕 大卒芸人奮戦記  
お笑いコンビ“火災報知器” 小林 知之さん  
第四幕 人はなぜ笑うのか  
臨床心理士 植松 紀子さん  
終演 落語とお笑いの舞台を歩く

25 JUST日大人  
ライオンズクラブ国際協会第二副会長 山田 實紘さん

26 トップの肖像  
地元の中核企業として地域活性化に貢献  
祐徳自動車株式会社 愛野 時興社長

29 旅、今宵のお宿  
宮崎県宮崎市青島 地蔵庵

32 日大人 百花繚乱  
山岳医療に情熱を注ぐ  
心臓血管センター 北海道大野病院 医師 大城 和恵さん  
自衛官としてのまっすぐな思いを歌声に  
海上自衛隊東京音楽隊 3等海曹 三宅 由佳莉さん

36 フロントランナー  
飲むワクチンの研究で新たな予防法を  
東京大学医科学研究所所長 清野 宏さん



40 いいもの美味しいもの紀行  
東京都墨田区 有限会社五月女染色工場の「江戸小紋」

42 ふるさと礼讃  
三重県津市 「上野英三郎博士とハチ公」像  
ふるさと案内人 上野 一人さん

44 わが町の先生  
長瀬中学校 教諭 越智 絢菜さん

45 首長に聞く  
日本一元気な県をめざす  
栃木県 福田 富一知事

48 復興への歩み  
沙留漁業協同組合代表理事組合長 横内 武久さん  
日本赤十字秋田看護大学教授 細越 幸子さん

51 先輩にインタビュー  
**土木の仕事**  
佐藤工業株式会社金町作業所所長 勝又 哲也さん  
インタビュアー 生産工学部 関根 健さん  
加賀田組新潟支店作業所所長 小野 学さん  
千葉県県土整備部手賀沼下水道事務所技師 林 大貴さん  
村本建設株式会社現場所長 北澤 伸二さん

59 書籍紹介

60 支部・部会紹介 愛媛県支部  
台湾日本大学校友会

62 校友会ニュース

64 お知らせ・掲示板



抽選で総勢49名さまにプレゼント!  
詳しくはP64をご覧ください。

表紙の写真  
本誌に登場する校友27人の笑顔

### 「桜縁」の由来

「桜」は日本大学の校章にもあしらわれた花です。この桜(日本大学)を媒介として大学、校友、在学生のそれぞれが新しい「縁」を結び、互いに助け合い、協力し合いながら発展していくためのコミュニケーション誌という思いを込めて『桜縁(おうえん)』と名付けました。また、校友の方には母校の活動と後輩を、在学生の方は仲間同士で“おうえん(応援)”しましょうという心も託しています。

文と写真  
もりりゅうた  
守竜太さん

三陸新報社記者  
平成15年文理学部社会科学卒業

# 住民の力で甦る 伝統の舞い

東日本大震災の被災地では、地域で古くから受け継がれてきた郷土芸能の多くも被害を受けた。道具、活動場所、人材……。沿岸部の生活と密接にかかわりながら、歴史を重ねてきた伝統的な文化も、千年に一度と言われた大津波にはなすすべもなく、存続の危機に立たされた団体は多い。

気仙沼市唐桑町只越地区に伝わる市無形民俗文化財「只越七福神舞」もその一つだ。

風光明媚な唐桑半島への玄関口に位置する同地区は10メートル以上の津波に襲われ、120世帯のうち3分の1以上が被災。住民も犠牲になった。私の小中学校時代の同級生も、自宅に戻る途中でこの付近で津波に巻き込まれたとみられ、いまだ行方不明

のままだ。

七福神に扮した住民が太鼓や笛の音などに合わせて踊る只越七福神舞は、170年ほど前に岩手県気仙地方から伝わったのが始まり。一時途絶えた時期もあったが、昭和48年に復活し、昭和50年代後半からは地域の小学生に伝承するスタイルが定着していた。

震災では道具も練習場所だった集会施設も流失。住む場所を失った住民たちはばらばらに。生活の先行きすら見通せない中であつたが、住民は伝統の舞いを再び復活させることを選んだ。

「踊りが地域をつなぎ止める力になってほしい」。昨年の春、練習を再開した保存会の住民は言った。

昨年11月17日。唐桑であったイベントに、真新しい衣装に身を包んだ只越の子供たちが登場した。暮らしを失った悲しみ、復興への希望……。万感の思いが込められた3年ぶりの伝統芸に、住民ならずとも目頭が熱くなった。

生活再建が遅々として進まず、優先すべき復興課題は多くとも、住民が地域の「伝統」に安らぎを求め、そこに活力を結集させる。気仙沼市内では17の郷土芸能団体が被害を受けたが、再開を諦めた団体はほとんどない。

これから新しく生まれ変わるであろう被災地であつて、どんな大津波でも消せない歴史の強さを考えさせられる。

唐桑町内の浜に奇跡的に流れ着いた七福神舞の太鼓



現在の只越地区(昨年11月)



震災直後の気仙沼市唐桑町只越地区(2011年3月17日)



3年ぶりに復活した只越七福神舞



## サークル紹介

### ストリートダンスサークル「MILD HEAVEN」

NU Scope

#### MILD HEAVEN

生産工学部と東邦大学の合同ダンスサークルで、設立7年目を迎える。普段の活動は週3回、隣接する東邦大学ラウンジ2F(月・金、18時~22時)と生産工学部体育館前(水、18時~20時)で行っている。ヒップホップ、ブレイク、ロック、ポップ、ガールズの5つのジャンルに分かれ練習に励むほか、年4回ほど公演を開催。部員は両大学合わせて約50名。



(写真左から)  
生産工学部創生デザイン学科3年 会長 齋藤 俊さん  
生産工学部マネジメント工学科3年 奥 優子さん  
生産工学部応用分子化学科4年 浅野 智香さん  
生産工学部数理情報工学科3年 長尾 綾香さん  
「ぜひ一度ステージを見に来てください」

今回登場してくれたのは、キャンパスが隣接する本学生産工学部と東邦大学のメンバーが合同で活動するストリートダンスのサークル「MILD HEAVEN(マイルドヘブン)」のメンバーたち。両大学の学生合わせて約50名が所属し、ふだんの練習の成果を新入生歓迎会や学園祭など、年4回ほどの公演で披露している。躍動的なダンスで会場を盛り上げ、元気とパワーをもたらししてくれると評判のサークルだ。

「サークル設立当初、日大だけでは人数が集まらず、東邦大と合同でスタートしたそうです。大学間の壁もなく、仲良く活動しています」と4年生の浅野智香さん。

大学に入ってから本格的にストリートダンスを始めた奥優子さんをはじめ、メンバーのダンス歴はさまざま。未経験者も歓迎という。ヒップホップやブレイクダンスなど、5つのジャンルに分かれて練習を行い、オリジナルの振り付けを完成させていく。「公演ごとにテーマを設けてメンバーのみならず、スタッフも作り上げていくことが大きな達成感につながるし、その分感動も大

きくなります」と奥さんがサークルの魅力を語れば、7代目会長の齋藤俊さんは「ダンスが好きで個性豊かなメンバーが多くて、衝突することも多いですけど、ダンスを通じて出会った仲間だから最終的には分かり合えるし、公演では一つにまとまります」とチームワークの良さを強調する。

理工系のため実験やレポート提出なども多く、勉強も大変だが、テスト期間中は自主練習にとどめて、勉強との両立を図っている。

創生デザイン学科で学ぶ齋藤さんは、「ダンスの経験も生かせるし、デザインだけでなく、生産工学部ならではの工学的な知識も身につけて、将来は舞台美術の仕事に就きたい」と話す。ダンスを通じて得た経験と仲間は、ずっと色あせることのない宝物になるに違いない。

### 元気あふれるストリートダンスで自分たちの思いを表現したい



## 運動部紹介



### 世界で戦う選手の育成とインカレ優勝を目指す

スキー部  
昭和2年に男子部が創部、46年には女子部が発足。全日本学生選手権大会(インカレ)では、男子部は13連覇を含め33回、女子部も13連覇を含む30回の総合優勝を数え、いずれも最多記録を誇る。また男女アベック優勝も22回達成。平成25年度は男子25名、女子16名の部員がチーム一丸となって練習に励む。「練習で泣いて 試合で笑い」という部訓のもと、これまで五輪出場選手35名を輩出している。



藤本 邦夫監督  
平成9年文理学部体育学科卒業

伝統的にノルディック種目のクロスカントリースキーに強いほか、ジャンプとコンバインドについては、質の高い企業チームと連携してトレーニングを積んでいるのが本学スキー部の強みだ。

「伝統のある部ですから、全国に多くのOB・OGがいます。合宿での宿舎を世話していただいたり、用具や遠征費用についてもサポートしていただくなど、練習環境には恵まれています」と監督就任1年目の藤本邦夫監督は語る。

ナショナルチーム兼任のコーチなど経験豊富なスタッフがそろい、世界レベルを目指した質の高い指導を実践。

「スキーは自然の中での闘いです。ジャンプにしても風が変われば、飛び方も変える必要があります。スタート台に立てば自分で答えを出さなければなりません。どんな状況にも自分の力で対応できるように、教えずに指導を心がけています」

そうした環境から、世界選手権で金メダルを獲得したコンバインドの湊祐介選手(東京美装興業)や、バンクーバー五輪のクロスカントリースキーで入賞を果たした石田正子選手(JR北海道)など、今後も活躍が期待される選手を輩出している。

スキーは基本的には個人競技で、世界で戦える選手を育成するのが最終的な目標という藤本監督。それでも、これまで輝かしい歴史を残してきたインカレだけは別だという。チームの総合力が試される男女そろってのアベック優勝という大きな目標を掲げる。年間150日にもおよぶ遠征・合宿を通じて、部員全員が切磋琢磨。チームの団結力を高めようと、今日も厳しい練習が続く。



## 留学生紹介

NU Scope



## ポムマジャン・ソーラシンさん

大学院理工学研究科社会交通工学専攻 博士前期課程1年

### ラオスをはじめ 開発途上国の交通システム整備に 力を尽くしたい



ラオス北部の出身だが、5歳のころから親元を離れ、首都ビエンチャンの叔母の家に寄宿してハイレベルな教育を受けてきた

ラオス国立大学を休学して、今から6年前に国費留学生として来日。1年間の日本語学校と2年間の土木建設関連の専門学校を経て、平成23年に理工学部3年次に編入学した。

現在は大学院理工学研究科に在籍し、社会交通工学を専攻。東南アジアを対象として、人間の交通行動に関する研究を行っている。

「交通機関を選ぶに当たって、費用や時間など、どの要素を重視するか、あるいは職業などの個人属性が意思決定プロセスにどのように影響を与えるかなどを調査、分析しています」

ラオスでは、バスが唯一の公共交通機関である。しかし、利便性が悪く、経済成長とともにバイクや乗用車の利用が増加。道路整備が追いつかないこともあり、近年では交通渋滞も発生しているという。そこで専用レーンを走る新たなバス交通システムを導入する必要があるとソーラシンさん。

学部生のときには、福田教授が指導する研究室の仲間とともに、タイの交通問題を調査し、改善案を提案。その研究成果で、未来博士工房学生博士号も受賞している。

博士前期課程修了後は、まずは日本の建設コンサルタント企業に就職して経験を積み、将来はラオスをはじめ開発途上国の交通システムを整備する技術者として活躍したいという。

「建設コンサルタント企業へインターンシップに行ったとき、同じ学科出身の先輩にお世話になりました。日本大学はたくさんさんのOB・OGがいて、人的ネットワークのすばらしさを実感しました」

日本語と高度な技術の習得が留学の第一目的だったが、本学での経験は代え難い貴重な財産となったに違いない。

## キャンパスの人気者

## 小児歯科医 石田 房枝さん

大学院松戸歯学研究科歯学専攻博士課程1年



### 歯の不正咬合を防止するため 顎のケアを広く浸透させたい

小児歯科医として50年近いキャリアをもつ石田さんは、虫歯の子どもが減った反面、不正咬合が増加していることを危惧していた。そこで、歯の土台となる顎骨に着目し、出生直後からの発育を調べ始めた。

「口の健康については、特に生後1年が非常に大きなカギを握っている」と結論を出した疫学研究がありますが、私のこれまでの臨床実感も同じです。本当にお腹の中から立ち上がるまでの育ちが大切です」

72歳にして大学院生となったのは、その論文をまとめ、エビデンス（検証結果）を示すため。すでに生後1カ月までの論文を発表し、在学中に3歳児までの調査を行う予定だ。「松戸歯学部は優れた研究で有名。小児歯科学講座は希望をこころよく受け入れて下さいました。皆さんとても熱心で刺激されます」。

大学院生だけに、もちろん講義や実習もある。研究に加え、学生時代に不得意だった分野を学び直したり、最新の知識を吸収したりと、学ぶ姿勢は若い現役生も顔負けだ。「先生や若いみなさんとの交流も本当に楽しい。図書館の充実ぶりもすばらしいですね」。

30歳前に3人の子どもを産み、診療と子育てに追われる毎日だった。その経験を活かし、5年前に「赤ちゃんから学ぶ会」を発足。歯科医ならではの内容はもちろん、育児を経験した母親の先輩として、乳幼児を健全に育てる心構えや習慣を伝えている。

多忙中にもありながら、研究への情熱も保ち続けてきた。

「歯科医と母親をきちんとこなしたからこそ見えた課題が、現在の研究につながっています。人生にむだな時間はありません。意志さえあれば、やりたいことをやれる時期は必ず訪れます。あきらめない気持ちで大切にしたいですね」



茨城県つくば市で歯科医院を営む。「いまになって考えると、虫歯の治療で子どもを苦しめてきた。不正咬合で同じ思いを絶対にさせたくない」という強い決意がある

# 笑う門には 福来る



懐かしの戦後お笑い小史

撮影協力/新宿末廣亭

● 1950年代〜テレビで笑いを

☆テレビの開局と共に東京では浅草、新宿、関西では梅田の軽演劇などで活躍していた役者がテレビ界で活躍。関東では三木のり平、脱線トリオ（八波むと志・由利徹・南利明）、佐山俊二、渥美清、大宮アン助などが活躍。関西では芦屋雁之助、大村崑、藤山寛美などが人気。

☆音楽バラエティ「シャボン玉ホリデー」でクレージーキッツがブームに

☆NHK「お笑い三人組」などTV、ラジオに落語家など寄席芸人が進出

● 1960年代〜演芸ブーム到来

☆「笑点」「お茶の間寄席」「大正テレビ寄席」「日曜演芸会」「土曜ひる席」などテレビで寄席番組が人気

☆落語では、林家三平が大人気。古今亭志ん朝、三遊亭圓楽、立川談志、月の家円鏡（現・橘家圓蔵）が四天王といわれた。関西では桂米朝、笑福亭仁鶴、桂三枝（現・桂文枝）らが人気

☆漫才、コントでは、かしまし娘、漫画トリオ、横山やすし・西川きよし、獅子てんや・瀬戸わんや、てんぷくトリオ、ナンセンスストリオ、コント55号などが活躍。漫談の牧伸二、ケーシー高峰、コミックバンドのドリフターズなどが活躍

● 1970年代〜演芸ブームから2強、吉本時代へ

☆コント55号、ドリフターズの2強時代。関西

では中田カウス・ボタン、レッツゴー三匹など吉本興業の芸人が人気に

● 1970年後半〜1980年はじめ〜漫才ブーム

☆テレビ番組「THE MANZAI」を中心に漫才ブームが。B&B、ザ・ぼんち、ツービート、のりお・よしお、紳助竜助などがブームを牽引。「オレたちひょうきん族」で明石家さんまが大人気。コントでは、コント赤信号、ヒップアップ、さらにとんねるずなど。落語では春風亭小朝、桂文珍など新世代が活躍

☆「笑ついでいとも」でタモリがブレイク、新しい笑いも生まれた

● 1990年代〜お笑い第三世代

☆テレビの深夜バラエティから第三世代と言われる新しい笑いが生まれた。「とんねるずのみなさんのおかげです」「ウッチャンナンチャンのウリナリ!」「ダウンタウンのカキの使いやあらへんで!」などが人気に。コントのダチヨウ倶楽部、ものまねのゴロツケ、清水アキラ、清水ミチコなどが活躍

☆「タモリのホキョウ天国」から若手芸人が人気に。爆笑問題がブレイク

☆芸能プロダクションがお笑い芸人の育成に力をいれるようになる

☆「めちゃ×2イケてるッ!」でインティナイン、よゐんが人気

● 2000年以降〜群雄割拠、世代交代も進む

☆「M-1グランプリ」を中心に新たな漫才の人材発掘。中川家など実力のある芸人が登場。その一方で短いフリースタイルの芸に人気を呼ぶ芸人などショートスタイルの芸に人気が集まるが、浮沈が激しい。また、テレビドラマ「タイガース&ドラゴン」をきっかけに落語ブームが短期的に起こった。林家三平の長男こぶ平が名跡・林家正蔵を継ぐなど世代交代が進んでいる

景気は上向き傾向といわれるが、

庶民の実感として生活は依然厳しく、

原油価格の高騰やら、

春からは消費税増税が待ち受けるなど、

先行きは不透明という声も少なくない。

それでも、テレビにはお笑い芸人が出ない日はないというほど

「笑い」がお茶の間にあふれている。

くよくよしていても始まらない、

災いは笑って吹き飛ばせとばかり、

昔も今も人々は笑うことで

明日への活力を生み出してきている。

『古事記』の天岩戸伝説にあるように

日本人は笑いで苦難を乗り越えてきたのである。

笑いは人々を元気にし、

誰もが楽しく笑って暮らしたいと思っている。

笑いは脳や細胞の活性化にもつながるともいわれ、

生活にいかにも笑いを取り入れていくかは、

これからの人生にとって欠かせないファクターになるだろう。

笑う門に福来る——今回の特集は、

落語、コント、放送など

笑いの最前線で活躍する卒業生の活躍ぶりを紹介しながら、

笑いとどうつきあっていけばいいかを考えてみた。

開演

# 春風亭一之輔さんと 「初天神」の 舞台を歩く

落語家

春風亭 一之輔さん

平成13年芸術学部放送学科卒業

江戸時代、有数の盛り場だった湯島天神。落語の舞台にもなっており、特に一之輔さんの看板ネタ「初天神」は、寄席でも人気の演目だ。いまもなお江戸の香り漂う界隈を、一之輔さんとともに歩いた。

湯島天神は、正式名称を「湯島天満宮」という。天満宮とは菅原道真を祀った神社のこと。「学問の神様」と言われる所以だ。初天神とは、その年最初に行われる天満宮の縁日のことで、毎年1月25日に行われる。

「このネタは縁日を歩く親子の話なんですね。境内の雰囲気とか、移動する距離感なんかをつかむた

めに、たまにくるんですよ」。境内に昇る男坂はけっこうな急勾配だが、馴れた足取りでひよいひよいと進む。

この日は平日だったものの、境内は受験生とおぼしき若い人たちでにぎわっていた。江戸時代には徳川家の庇護のもと、学者・文人らから崇敬を集めた。もっとも、江戸町民にとっての湯島天神

は夢を買う場所。正月七日間に発売された宝くじ「富くじ」が大人気となり、感応寺（谷中）、滝泉寺（目黒）を合わせて「江戸の三富」と呼ばれた。

ところで、一之輔さんは前座時代に初天神を覚えたが、納得のいく出来映えにならず実演を控えていたそう。しかし、自身に子どもが誕生し、父親になった頃に演じてみると、嘶の世界がしっくりくるように。現代も変わらぬ親子の情愛やおかしみを巧みに描き、平成22年に同演目でNHK新人演芸大賞に輝いた。  
江戸期から続く寄席「鈴木演芸場」に近いため、ときどき界限で一杯飲むことも少なくない。落語家というと、粋な酒場で熱燗というイメージだが、「私はそういうこだわりがまったくない。熱燗も苦手、安い酒場でビールやホッピーばかり飲んです（笑）」。



笑門には  
福来る



初天神の  
あらすじ

初天神に出かける父親と息子の金坊。絶対に何もねだらないという約束だったが、あの手この手で父親をやりこめ、飴や団子を手に入れる。最後は飴を買わせるが、あまりのおもしろさに父親が夢中に。金坊曰く「こんなことから、おとつあんを連れてくるんじゃないかった」。

歌川広重「名所江戸百景／湯島天神坂上眺望」(日本大学総合情報センター所蔵)▶  
湯島天神は、本郷台地の東側の高台に位置しており、この絵に描かれているように、江戸時代は不忍池の弁天様を見下ろすことのできる景勝の地だった。こうした景色や梅以外に、江戸の庶民を引き付けてやまなかったのが富くじ(宝くじ)だった。落語「御慶」にも湯島天神の富くじが出てくる。



◎広重の絵にも描かれた男坂を上る ◎～◎露店などでにぎわう天神さまをていねいにお参り。時節柄合格祈願のお札がいっぱい ◎境内には貞水さんが建立した「講談高座発祥の地」の碑がある ◎男坂の手前の路地。この界隈に講談界の人間国宝一龍斎貞水さんのご自宅も ◎湯島台地から池之端へ至るかつては花街として栄えた仲町通り。左へ行くと不忍池、通りを抜けて右へ行くと鈴木演芸場がある ◎鈴木演芸場の前で



第一幕

# 一之輔さん、落語の魅力語る



◆プロフィール  
春風亭 一之輔(しゅんぷうてい いちのすけ)  
昭和53年千葉県生まれ。平成13年芸術学部放送学科卒業。本名は川上圭一(かわかみとしかず)。本学卒業後、春風亭一朝に入門。2カ月の見習い期間を経て前座となる。前座名は朝左久。平成16年に二つ目に昇進し、一之輔と改名。めきめきと頭角を現し、数々の受賞を重ねる。一昨年、21人抜きの大抜擢で真打ちに昇進。単独で昇進披露興行を開催した。出囃子は「さつまさ」、紋は「中蔭光琳蓑」。公式ホームページ/ <http://ichinosuke-en.com/>

●落語との出会いはいつですか？

「小学生の時、落語クラブに入ったのが始まりです。一席覚えて、全校生徒の前で披露しました。その後はしばらく落語から離れ、高校ではラグビー部に入りました。ただ、1年で退部して、空いた放課後を使いあぐねていた時、たまたま浅草演芸ホールに入ったんです。寄席は初めてでし

たが、これが最高におもしろい。特に落語はいろいろな笑いに満ちて、がぜん夢中になりました」

その後、廃部になっていた落語研究会(落研)を再興したり、浪人時代にも寄席通いを続けるなど、落語にのめりこんでいった。

●日大でも落研に入部されましたが…

「部員が妙な人ばかりでね。突然『風になる』って言って退部

した人がいたんですけど、『風があわなかった』ってすぐに復帰したり(笑)。でも、稽古はしっかりやりました。古今亭右朝師匠が顧問で、合宿と学園祭の前まで来てくださる。プロに稽古つけてもらえるんですから、そりやもううれしかった」

●プロになろうと決めたのは卒業間近。就職活動はいつさいせず、大ファンだった一朝師匠への入門

を決めた。緊張のあまりなかなか声をかけられず、新宿末廣亭の楽屋口に一週間通つてようやく入門を志願した。

●落語の時代を超えたおもしろさとは？

「やっぱり普遍性でしょうね。物語の筋はわかっているのに、笑ってしまう。人間のもつおかしみが、しつかりとらえられているからだと思えます。弱さ、滑稽さなどの人

情が生む笑いは、江戸時代も現代も変わりませんから。誰もが楽しめるわかりやすさや、ただ座つてしゃべるだけというムダのなさも大きな魅力だと思います」

一人ですべてやりきれぬ点も、一之輔さんは「体にあつていた」という。人を笑わせることよりも、自分が楽しかったことが、落語家になつた何よりの理由だ。

●海外遠征も経験されました。

「欧州から依頼を受けて、ドイツ、ベルギーなど、6カ国公演を



昨年の12月新宿末廣亭ではおおとりをつとめた。後援会からの幟にその人気ぶりがうかがえる

### ◆一之輔さんに聞きました



落語家になるには？  
寄席の楽しみ方は？

落語家を目指すなら、やっぱり多くのプロを見ること。それに、本や映画などヒントになりそうな知識を増やすこと。まあ、これ以上ライバルが増えるって困るんで、目指してほしくないですけど(笑)。寄席は、自分が好きな芸人さんを見つけてる場と思えばいいでしょう。いつ入っても、出てもいいのが寄席のいいところ。のんびりしたい時、寂しい時、いつでもおいでください。ちよつと大人の雰囲気なので、デートにもお勧めです。



春風亭一之輔さんの著書「一之輔、高座に粗忽の釘を打つ」(白夜書房刊)とCD「初天神・青菜」を抽選でそれぞれ3名さまにプレゼント。詳しくはP64をご覧ください。







笑門には

# 寄席へむこう

いまに残る江戸の都市文化  
入れ替えなしで楽しめる



## 寄席の基礎知識

定席(じょうせき) 一年中落語が聞ける場所。  
上席(じょうせき)・中席(なかせき)・下席(しもせき) 寄席の1カ月の興業で1日から10日までを上席、11日から20日までが中席、21日から30日を下席という。  
高座(こうざ) 寄席の舞台のこと。  
上下(かみしも) 舞台の上手、下手のこと。客席から見て右が上手(かみて)、左が下手(しも)とめくり。一般的には高座の下手に置かれる出演者の名前を書いた紙の札。出演者ことめくる出囃子(でばやし) 芸人が高座に上がる際にかかる音楽。これを演奏する人を下座(お囃子)という。  
もぎり 入り口でチケットの半券を切る人。

寄席の発祥は寛政10(1798)年6月、現在の台東区上野の下谷神社あたりで、初代三笑亭可楽が寄席を開いたのが始まりといわれている。200年以上前に江戸で生まれたいわば都市の娯楽・文化の一つで、現在は、落語、漫才、手品、浪曲、講談などの演芸を見せるための常設の興業小屋を寄席と呼んでいる。まさにお笑いの博覧会のような場所であり、伝統的な日本の笑いの魅力味わえる場所である。

お笑いを鑑賞するには、寄席のほかホールやライブスペースなどもあるが、午前の開演から夜の閉演まで、1日入れ替えなしで鑑賞(特別プログラムの場合は別)できるのは寄席だけ。1日いると昼夜合わせ20~40席余りの出し物を堪能でき、館内では飲食もできる。また、夜の部だけ割引になったり、早朝落語などさまざまなプログラムがあるので、これまでに寄席の経験のない人は、ぜひその雰囲気味わってみてはいかがだろうか。なお現在、落語定席の寄席といわれるものは東京の浅草演芸ホール、上野鈴本演芸場、池袋演芸場、新宿末廣亭の4席だけである。東京以外には上方落語の定席として大阪の天満天神繁昌亭、動楽亭、名古屋の大須演芸場などがある。

### 東京の寄席ガイド

**浅草演芸ホール**  
台東区浅草1-43-12  
○案内: 昭和39(1964)年開場 / 【昼】11:40~16:30【夜】16:40~21:00 年中無休 / 【料金(通常時大人)】2,500円【アクセス】東京メトロ銀座線「田原町」駅より5分、東京メトロ・東武伊勢崎線「浅草」駅より6分、都営地下鉄浅草線「浅草」駅より8分 <http://www.asakusaengei.com/>

**上野鈴本演芸場**  
台東区上野2-7-12  
○案内: 安政4(1857)年開場の軍談席本牧亭が母体 / 【昼】12:30~16:30【夜】17:30~20:40 / 【料金(通常時大人)】2,800円【アクセス】JR「上野」駅より10分、「御徒町」駅より5分、東京メトロ銀座線「上野広小路」駅より1分、千代田線「湯島」駅より8分、日比谷線「御徒町」駅より10分、都営大江戸線「上野御徒町」駅より5分 <http://www.rakugo.or.jp/>

**池袋演芸場**  
豊島区西池袋1-23-1 エルクルーセ  
○案内: 昭和26(1951)年開場 / 【昼】12:30~16:30【夜】17:00~20:30 / 【料金(通常時大人)】2,500円【アクセス】JR、東京メトロ丸の内線・副都心線、東武東上線「池袋」駅より1分 <http://www.ike-en.com/>

**新宿末廣亭**  
新宿区新宿3-6-12  
○案内: 明治30(1897)年開場 / 【昼】12:00~16:30【夜】17:00~21:00 1、2階に様数あり / 【料金(通常時大人)】2,800円【アクセス】JR、小田急線、京王線「新宿」駅より7分、西武新宿線「西武新宿」駅より10分、東京メトロ丸の内線・副都心線、都営新宿線「新宿三丁目」駅より1分 <http://www.suehirotei.com/>

※開演時間、料金は変更になることがあります。アクセスは徒歩による時間です。詳細は各ホームページでご確認ください。



## 第二幕

# 「笑い」を作る 「笑い」を生かす

放送作家  
元祖爆笑王さん  
昭和62年芸術学部映画学科卒業

# 現代の笑いの クリエイターに学ぶ 笑いの コミュニケーション術

テレビのお笑い番組やバラエティー番組では、毎日新しい「笑い」が生み出されている。そんな「笑い」の表舞台を支えているのが、番組の構成台本を手がける放送作家と呼ばれる存在だ。そんな笑いのクリエイターの一人である元祖爆笑王さんに、会話に「笑い」を取り入れる秘訣などを伺った。

なまりを克服して放送作家の道へ

秋田から東京に出てきて、本学に入学した高橋裕幸青年は、秋田弁コンプレックスを克服しようと落語研究会に入部。落語研究会のOBである放送作家の高田文夫氏に出会ったことがきっかけとなり、放送作家の道へ足を踏み入れる。

「大学4年のときに親に放送作家になると言ったら、勘当同然に怒られました。それでも高田文夫さんの運転手とかばん持ちを始めたんです」

その後、大学を卒業し、26歳のときに初めて自分の名前がエンドロールで流れたのが「ウッチャン

もともと地元の放送局で働くことを夢見て、芸術学部へ入学。平成25年には、秋田県をPRするメディアプロデューサーや男鹿市観光大使にも任命された

ナンチャンのやるならやらねば!』という番組だった。それを見て両親も認めてくれたという。

### お笑いにも不可欠な構成要素とは?

以来高橋青年は多くのお笑い番組の構成を手がけ、元祖爆笑王というペンネームで人気放送作家として活躍。タレントスクールの講師やオーディションの審査員を務め、新人の発掘や育成にも力を入れている。

### 笑いを取り入れ会話力を磨こう

「お笑いでも、会議でも、まず人に話を聞いてもらうには、最初の

に空気を作らないといけない。その場の雰囲気、空気をつかめば、

「声が小さいとやる気がないの

と、話を弾まないですよね」

かと思われてしまいます。学生さんも、就活の面接では明るく振る舞ったほうがいい。やっぱり第一印象は大事で、それもつかみの一部分なんですよ」

書籍『お笑い芸人直伝! 鉄板フレーズ100選』を抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP64をご覧ください。



◆プロフィール  
元祖爆笑王(がんそぼくしょうおう)  
昭和39年秋田県生まれ。本名、高橋裕幸。本学在学中、落語研究会に所属。OBである放送作家・高田文夫氏に師事し、放送作家の道へ。26歳で『ウッチャンナンチャンのやるならやらねば!』の構成を担当して以降、『めっちゃ2イケてるッ!』など人気番組を多数手がける。そのほか、若手芸人の発掘や秋田県PRメディアプロデューサーも務める。

元祖爆笑王さん編による『お笑い芸人直伝! 鉄板フレーズ100選』から、ウケること間違いなしの会話フレーズを厳選してご紹介! 明日から会話の中心にいるのは、きっとアナタです!



【自己紹介編より】  
自己紹介の定番「血液型」の「ガタ」に引っかけた三段オチ  
何人かで順番に血液型を言うときに…  
笑いの基本である、振って、振って、落とすという三段オチです。応用例としては、「A型です」「B型です」「クワガタです」というものもあります。星座を順番に言うときは、「さそり座」「水瓶座」「俺、ギョウザ」ではいかがでしょうか。



# シーン別おすすめ鉄板フレーズはコレだ!



お笑い芸人直伝! 鉄板フレーズ100選  
編著: 元祖爆笑王  
発行: リットーミュージック  
価格: 1,200円(税別)

最後は  
キリのいいところで、  
三万本締めで!



### 【ヨイショ編より】

食事に連れて行ってもらったときに、お礼の意味を込めて言う言葉先輩に食事に連れて行って貰って、料理が出てきたときに…

この場合、普通に「いいお店ですね」とか「このメシうまいですねー」では、お店に対するホメ言葉となってしまいます。そこで、このようにファンクションを置き、相手を持ち上げるのが、ヨイショの高級テクニックとなるのです。

### 【飲み会編より】

飲み物の注文で回りくどい説明をするドリンクを注文するとき…

「ウーロン茶」とストレートに注文すればいいのに、わざわざ回りくどい表現をするフレーズ。「最初っから、ウーロン茶って言葉よ」ってツッコミを入れればパッチリ。カルピスソーダ、カシスソーダも同様で、何人かで順番に注文していくほうがウケるでしょう。

# お笑い芸人には 求められるのは 人間力だ！

## 第三篇 大卒芸人奮戦記



「火災報知器」  
小林 知之さん  
平成15年文理学部地理学科卒業

お笑いの世界に入るためには師匠の門下で修業を積むというのが一般的だった。ところが最近では芸能プロダクションが主催するオーディションなどから芸人の道へ入る若手、しかも大卒芸人が少なくない。若手お笑いコンビとして人気の「火災報知器」小林知之さんの奮戦ぶりを取材した。

◆プロフィール  
小林 知之(こばやし・ともゆき)  
昭和55年東京都生まれ。日本大学櫻丘高等学校では野球部に所属。幼なじみの高松信太郎さんと高校3年のとき(平成10年)「火災報知器」を結成。大学時代は地理学科でGIS(地理情報システム)など最新の情報技術の活用を学びながら、ライブハウスなどで活動。大学卒業後、株式会社太田プロダクションに芸人として採用される。最近ではテレビ、ライブなどソロでの活動も少なくない。

### 日常生活の中にはネタがいっぱい

伝統的なスタイルにこだわる古参忍者とゆとり世代の新米忍者のちぐはぐな掛け合いに会場は爆笑に沸く。芸能プロダクション「太田プロ」が毎月新宿で開くお笑いライブ「月笑」のステージ。観客の投票で毎月のランクが決まるだけに若手芸人にとっては生き残りかけた戦場のような場である。火災報知器は、平成24年総合8位、コンスタントに上位にランクされる人気コンビである。

「何気ない人の営みをどう笑いとして高めていくか。シチュエーションが決まると2人で自由にしゃべってみて、それを台本に起こし、再び口頭で合わせてみる。稽古は公園や出番前の楽屋や舞台裏などさまざま。小林さんのツッコミと高松さんのボケの絶妙な笑いはいくらもふううにして生まれているのである。

### 高校時代の恩師の一言で覚悟

コンビを組んだのは中学時代。人気タレントのコピーが同級生に受け「笑いを得ることの快感」を味わった。高校3年のときお笑い大会に出場してスカウトされ、プロを目指そうと思った。しかし、ライブ活動を続けながらも覚悟はつかず、大学では教職課程を履修し堅実な教員の道も考えた。しかし、母校櫻丘高校に教

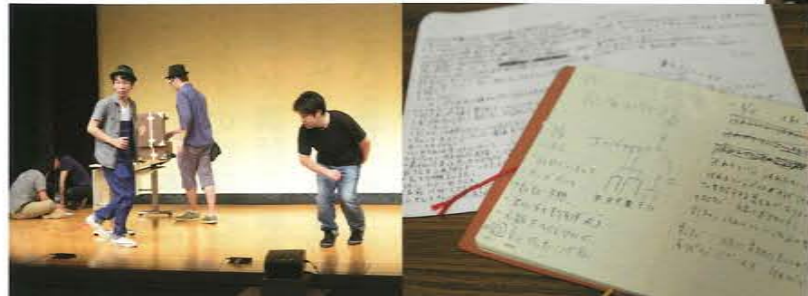
育実習に行くと、恩師から職員室で進路を問われた。「ほんとうに教員をやりたいのか」と。その一言で覚悟を決めた。「何でも自由にやれと言っていた親も、最初は大学出がなんで芸人になるんだと心配そうでした。僕自身、転職するとき履歴書の前職欄にどう書けばいいんだらうなんて、ちょっと迷いもあり



▲新宿安田生命ホールで行われる太田プロダクションの「月笑」で忍者コントが大うけ

▼開場前のステージで入念に練習

▼大学ノートにびっしり書かれたネタ帳



### 得意分野を芸に活かす

小林さんは火災報知器の活動のほか、最近ではソロでテレビやライブをこなすことも少なくない。ショーパブの企画・構成、さらに大学時代学んだ地理の知識を活かし「四島の楽校」の講師など啓蒙活動に関連した仕事も増えてきた。

「駆け出しの頃、高校の野球部の先輩、佐藤隆太さんがテレビに出ているのを見て、身近な人の活躍がとて励みになり、密かに頑張ろうって自分を鼓舞していました。最初はお笑いのデビューをとるのが目標でしたが、野球



郡山市で開かれた北方領土の啓蒙イベント「四島の楽校」の講師として、北方領土の基礎知識を子供たちにも分かりやすく解説。こうした小林さんの地理の知識を活かした仕事で全国を回ることも少なくない(写真:上) 古地図をはじめ珍品地図のコレクターでもある小林さん、お気に入りの東京オリンピック当時(昭和39年)の東京文化地図など自慢のコレクションを披露(写真:下)

だからこそ続けられているんですね。最近、父親も一つのことを10年以上やっているのは偉いとはめてくれます(笑い)

でもホームランバッターばかりじゃないわけで、いまは自分のポジションが見極められるようになった。お笑いの世界に学歴は無用ですが、大卒芸人の位置づけが変わってきたことも確かです。大学で学んだ地理は僕の得意分野でもあるので、これを大いに生かして、幅広い層に笑ってもらえる芸をつくっていきたいですね

最後にお笑いの打率をたずねると、「高校時代の野球の打率よりいいと思います」



これから芸人をめざす人に

クラスの人気者だからといって芸人では通用しません。オーディションは就活と違って対策を立ててほしいですね。審査員にとって若手はみんな同じに見える。何かありそうだと思うてもらえたら第一関門はパス。では人と違うパフォーマンスを見せるのは何が大切かというと、その人の人間力です。大卒芸人が増えているけれど頭でっかちはだめ。人と人のつながりを大切にできる人、まず人間力を磨くことが芸人にとって大切ですね。同じセリフでもAさんが言うのと違う——芸人の違いとはそういうことではないでしょうか。



太田プロライブ「月笑」のチケットを抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP.64をご覧ください。





### 第四幕

臨床心理士  
植松 紀子さん

昭和41年文理学部心理学科卒業

## 人はなぜ笑うのか



ここでは、人はなぜ笑うのか、そのメカニズムや発達、心理との関係、また笑いがもたらす効用などを考察してみたい。本学総合生涯学習センターの講座「笑いの発達と心理」で講師を務めた植松紀子先生に、そのポイントを明らかにしていただいた。

### 哲学者を中心に笑いを真面目に研究

笑いとは何か、人はなぜ笑うのかという研究は、これまで哲学者を中心に行われてきた。植松先生によれば、笑いは二つの学説があるという。

一つは、フロイトが唱えた「余剰エネルギー説」で、抑圧を受けて蓄えられた余剰エネルギーが、

刺激を受けて突如あふれ出て笑いを生み出すというもの。

二番目はカント、ショーペンハウアー、ベルグソンらが言及した「適応矛盾説」で、カントは「ある期待と緊張が続いた場合、意表を突く形で笑いが生じる」と考えていた。これは、一種のズレからくる

今回の講座を終えて、「ラポール(相談者との信頼関係)ができれば、笑いが出てくるようなカウンセリングを心がけたいと思うようになりました。やはり笑っている人は幸福感に包まれています」と植松先生は話す

# 哲学的な考察から科学的な研究へ 「笑い」がもたらす心と体の健康

笑いといえる。

最後がホプスやベーンらが唱えた「優越感情説」で、自分の優

位性を感じたときや、勝利したときの笑いである。

### 人間が成長すれば「笑い」も成長する

児童心理に詳しい植松先生によれば、人間は赤ちゃんのときから成長するにしたがって、笑いも変化していくという。

「新生児の微笑は、筋肉の働きで口角が上がるもので、笑っているわけではありません。しかし、それを見た人はかわいいと感じ、保護すべきものと映るのではないのでしょうか」

赤ちゃんは目が見えるように

なつてくると、お母さんをまねして笑う時期が訪れる。

「その後、人見知りの時期には初対面の人には笑わなくなりませんが、3歳では冗談が理解できるようにになります。5歳になれば一人で空想して笑うし、8歳ともなると抽象概念への理解が進み、ほぼ大人と同じような笑いが可能になります」

### 脳を活性化する「笑い」の効用

また、脳神経外科医の傍ら、「笑い」の医学的効用を説いた故・中島英雄氏の研究からは多くの示唆が得られたという。中島氏は自らも落語家として高座

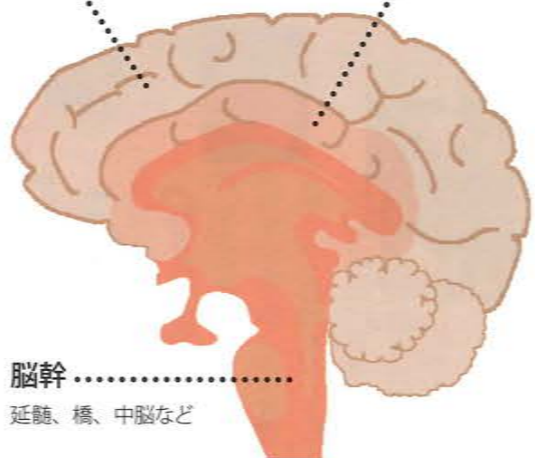
に上がり、「病院寄席」を続けてきた人物である。

「笑う前と笑った後の脳波を調べた研究では、笑った後は脳が活性化していることがわかったそうです。また、笑いは脳のどの部分で一番反応しているかという点、記憶をつかさどる海馬や感情をつかさどる扁桃体など、旧皮質と呼ばれる大脳辺縁系だったといえます」

### 笑うと大脳辺縁系が一番反応する

大脳新皮質  
前頭葉、後頭葉、側頭葉など、  
灰白質と呼ばれる部分

大脳辺縁系  
扁桃体、海馬など、  
旧皮質と呼ばれる部分



脳幹  
延髄、橋、中脳など

「笑いの発達と心理」をテーマに、昨秋5回にわたって開かれた総合生涯学習センターの講座



#### ◆プロフィール

植松 紀子(うえまつ・のりこ)

昭和18年朝鮮生まれ、熊本県水俣市で育つ。臨床心理士の資格を持ち、平成15年から本学通信教育部講師、平成24年から清瀬市教育委員を務める。植松メンタルヘルス・ルームを主宰し、さまざまな悩みを抱える人のカウンセリングを行っている。『6歳までの子どものほめ方叱り方』(すばる舎)、『保育者のためのハンドブック SOSに気づく早めの支援』(光生館・共著)などの著書がある。

山田 實紘さん

昭和43年医学部医学科卒業

医師として、社会に貢献してきた  
実績と行動力を元に  
世界最大の社会奉仕団体をリードする



ライオンズクラブ国際協会第二副会長の  
当選証書を手にして



ドイツ・ハンブルクで開かれたライオンズクラブ国際大会で第二副会長に選出。夫人とともにパレードに参加

世界で134万人、日本でも10万人のメンバーを擁する世界最大の社会奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」。昨年7月、その第二副会長に選出されたのが、本学校友で脳外科医の山田實紘さんだ。

山田さんは、帰郷して医師として働いていた38歳のとき、肝臓がんと診断され、手術をした。幸い誤診で1年後に良性腫瘍であったことが判明。そのとき患者となった経験から、患者が弱い立場にあることを肌で感じたという。

「医師は患者のために尽くす必要があるという思いで、自分の病院を改革しよう」と決意しました。

カルテ開示やインフォームドコンセントなどが提唱される以前から、患者第一主義をうたい、改革に取り組んだ。さらに、全身CTやMRI、PET、さらには今話題の手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」など、最新鋭の医療機器を全国でもいち早く導入。そうした取り組みが評判となって病院の規模も拡大していった。

一方、入会したライオンズクラブで展開されていた献血、献眼（角膜提供）、献腎（腎臓提供）の三献運動の啓蒙活動に限界を感じた山田さんは、医師としての立場を生かし、より実践的な腎移植のコーディネーター的な活動を開始。こちらもすぐに大きな成果を収めた。

医療と社会奉仕を結びつけたアイデアや、持ち前の行動力を発揮し、ライオンズクラブにおいても精力的に活動を続けていった結果、国際理事会の執行委員まで務めた。その際の国際協会への貢献から、昨年7月に第二副会長に選出。今後第一副会長、会長、理事長と1年ごとにステップアップしていく最初の階段に就いたのだ。

「ライオンズクラブ国際協会のノーベル平和賞受賞を目指して、世界を飛び回る毎日です」と大きな目標を掲げる山田さん。「日本においても、紳士クラブ的なイメージを脱却し、真の人道奉仕団体に改善していきたい」と抱負を語る。

◆プロフィール  
山田 實紘（やまだ・じつひろ） 昭和18年岐阜県生まれ。57年から岐阜県美濃加茂市の木澤病院（現木沢記念病院）に医師として勤務。60年美濃加茂ライオンズ

クラブ入会。社会医療法人厚生会木沢記念病院理事長、特定医療法人清仁会のみよの丘ホスピタル理事長ほか役職多数。平成25年7月、ライオンズクラブ国際協会第二副会長に選出。



地名のついた落語  
といえは「目黒のさんま」「蔵前駕籠」などがよく知られている。とりわけ上野や浅草、日本橋界隈は落語の舞台や芸人によつてわんスポットが少なくない。「笑い」の特集のしめくりに、落語とお笑いの舞台をたずね、下町情緒が残る上野周辺をぐるりとめぐりしてみた。



落語とお笑いの舞台を歩く  
東京散歩  
上野・湯島・根津・谷中  
根岸・下谷をひとめぐり

お散歩コース  
湯島天神⇒仲町通り（守田寶丹）⇒鈴木演芸場⇒不忍池⇒清水観音堂⇒すり鉢山⇒根津神社⇒全生庵⇒ねぎし三平堂⇒下谷神社

- 落語の舞台
- A 湯島天神 / 湯島天満宮が正式名。富くじ興業に題材をとった「初天神」「御慶」、表通りの湯島切通しは「柳田格之進」「ねぎまの殿様」に登場
  - B 守田寶丹 / 上野池の端仲町通りにある守田治兵衛商店は江戸最古の薬舗。「こが扱う」「宝丹」は文久2（1862）年創業の万能薬で、夏目漱石も愛用した一品。艶笑噺「なめる」のオチにこの宝丹が出てくる
  - D 不忍池 / 江戸時代から蓮池の名所。殺生禁断の池で釣りを「睡の釣り」の舞台
  - E 清水観音堂 / 京都の清水寺を模して建立。観音堂から不忍池の眺めは絶景。観音堂の下の茶店での出会いと「瀬をはやみ」の歌をめぐって展開する「崇徳院」、「景清」などに登場
  - F すり鉢山 / 「長屋の花見」で、貧乏な店子と連れて大家が上野に花見に行く場所がここあたり
  - G 根津神社 / 「白波看板」の主人公夜兎角右衛門が住んでいたのがこの門前。「札所の霊験」にも登場する。神社ができる前は遊郭街があり「不寝」と言われた
  - H 全生庵 / 山岡鉄舟が建立した寺。「牡丹燈籠」「文七元結」などの名作を残した三遊亭圓朝の墓所がある。「応挙の幽霊」の題材になった幽霊画があり、圓朝の命日8月11日頃に毎年公開される
  - I 鈴木演芸場 / 安政4（1857）年開場。都内4つの定席の寄席の一つ
  - J 下谷神社 / 寛政10（1798）年、初代三笑亭可楽が稲荷町・下谷神社境内で初めて木戸銭を取つて寄席を開いたといわれる。境内に「寄席発祥之地」の碑が立っている



祐徳自動車株式会社  
代表取締役社長  
愛野 時興さん

昭和56年経済学部産業経営学科卒業

# 地元の中核企業として 数々の事業を手がけ 地域経済の活性化と 人材の育成に貢献

地元の足である路線バスや、生活を支える小売店。人口の減少に伴い苦戦を強いられる企業が多い中、愛野時興さんは卓越した組織運営力で、事業の安定化を図っている。同時に目指すのは地域を支える人材の育成。自社のみならず、佐賀県全体の将来をみすえながら、多くの務めに奔走している。



## 地元企業ならではの 戦略で実績を重ねる

昭和7年の創業から、一昨年で80周年を迎えた祐徳自動車。佐賀県を中心としたバス路線の拡張で成長を遂げ、貨物運送、自動車販売などの経営多角化を推進。昭和52年には小売業にも参入し、現在ホームセンター23店舗、食品館6店舗と成功を収めている。いまや祐徳グループの従業員数は1500人。愛野時興さんは、そのトップとして辣腕を振るっている。

「副社長時代は事業の拡大をおもに考えていればよかったのですが、社長になると経営リスクに目を光らせないとはいけません。一つの事業を拡大したことで、別の事業が弱体化する恐れもあります。当社の動向が同業者や業界にどのような影響を与え、それがどう跳ね返ってくるか。会社の外側まで勘案しながらの舵取りが難しいところです。大手資本との競合も厳しさを



社員ともきさくにコミュニケーションをとる



本社スタッフと。社是の「誠心誠意」と安心・安全なサービスをモットーに事業を広げている

増しています。特に小売業は、当社のような地場資本の中小企業が、全国チェーンを展開する大企業と戦う時代です。もはや飽和状態の地域商圏で生き残るには、地元企業ならではのアイデアを打ち出さなければなりません。今後は事業を横断的に融合させ、新たなサービスの創出に努めていく予定です」

市場の変化が激しい時代、遅れをとらないため、組織改革も進めている。3年前まではグループ

## 荒波の中で組織改革を推進 会社の新たなイメージづくりも

創業者の孫にあたる5代目。しかし、本来は会社を継ぐ予定ではなかった。大学卒業後は西武グループに就職し、交通・サービス・リゾート開発等に携わった。

「徹底的にサービスの基本を叩き込まれました。会釈の仕方に始まり、お客様の目線に立った細かいサービス、施設の安全性確保、組織の作り方、学んだことは本当に多いです」

その後、バス事業部に転属。大流行だった、はとバスツアーに対抗する商品開発などを担当し、現

各社の社長を兼務していたが、それでは長期の不在時などに意志決定が遅れ、チャンスロス招く危険性があった。そこで、自身は会長となり、各社に生え抜きの社長を任命。確実に意志決定が迅速化され、組織全体が機能的な高まりを見せている。事業所、従業員数ともに年々増加しており、地元経済にも好影響を与えている。

## 在も高い人気を誇るツアー企画を成功させた。しかし、入社10年目、地元に戻らざるを得なくなる。愛野さんの父親は故愛野興一郎氏。3代目の社長を続

けながら、国会議員を務めていたが、大臣に就任したため、企業経営から退く必要に迫られた。そこで、愛野さんに白羽の矢が立った。

平成元年、副社長として戻ったときは弱冠32歳。当然、役員は大先輩ばかりだ。社内的にも、親の七光りのような見られ方もす



貸切バス事業は佐賀のほか東京、大阪など全国6カ所に営業所を展開

れば、首都圏トップクラスのバス会社で活躍してきたからその誤解や偏見もある。自身も、当初は規模や組織運営の違いに戸惑いを隠せなかった。

「ただ、地方には地方の見えない苦労やリスクがあることに気づいたんです。人材の採用一つにしても、都会のように無尽蔵な市場ではありません。また、すでに少子高齢化が始まった頃で、いずれの事業も市場規模の縮小が始まっています。保守的な経営から、数十年後も耐えられる組織、



今宵のお宿

# お地蔵さまの宿 地蔵庵

宮崎県宮崎市青島

文・葉石かおり



福を呼ぶお地蔵さまの宿  
パワースポット巡りも楽し



トップの肖像



TOKIOKI AINO



バスセンターの路線図の前で



研修会で新人バスガイドさんの育成にも力を入れている

事業、イメージへの変革を進めなければならぬと強く感じました。

創業60周年には、現在のサービスマークや車両デザインなどを導

## 地域に貢献できる人材を

### 多方面から育成する

現在は、地元の佐賀経済同友会代表幹事を務めるなど、多方面から地域経済の発展に尽力している。もちろん、日大のつながりも大切にしており、地元の校友や、全国にいる友人たちとの交流を欠かさない。

「校友というだけで思いもよらない縁が生まれ、ビジネスにしろ、遊びにしろ、たくさん刺激をもらえます。校友が100万人もいるスケールメリットを活かさない手はありません。多くの友人や先輩とのつながりを築き、将来にわたって日大のブランド力を活用してほしいと思います」

自身が陸上五種競技の選手だったこともあり、スポーツを通じて人材育成や地域の活性化にも力を入れている。佐賀県体育協会の副会長として、2023年の国体招致を目指しているほか、

入し、現代的なイメージに転換。大きく飾らない人柄からしだいに社員との距離も縮まり、着実に組織改革を進めていった。

寄付金を拠出して、選手の養成などを支援している。

「組織作りは人作り。一段階上の仕事や貢献ができる人材の育成なくして、会社も地域も発展は望めません。私に続くトップの育成は何よりの課題ですが、地域を率いる人材もたくさん育てていきたい。故郷を支えるのも、やはり人ですから」



長崎本線肥前鹿島駅前の本社



#### ◆会社DATA

祐徳自動車株式会社  
設立 昭和7年12月11日  
本社 佐賀県鹿島市大字高津原4078番地  
TEL 0954-63-3111 / FAX 0954-63-5339

資本金 6千万円  
売上高 126億円  
事業内容 交通運輸事業、流通事業、企画事業  
ホームページ <http://www.yutoku.jp>

#### ◆トップのプロフィール

愛野 時興 (あいの・ときおき)  
昭和34年佐賀県生まれ。本学卒業後、株式会社コクドに就職。リゾート開発、バス事業などに従事。自社に副社長として戻り、平成12年に社長就任。祖父、父ともに国会議員という政治家の家系で、名づけ親は中曽根康弘氏。後継も期待されたが、「やめておいて本当によかった」と笑う。座右の銘は、伝統の社是「誠」から「誠心誠意」。

宿に着くと、あかりが灯ったかのような温かな心持ちになった。そこには穏やかに微笑む立派なお地藏さま。気づけば、自然と手を合わせていた。

お地藏さまの優しさに満ちる「地藏庵」が建てられたのは平成5年のこと。宿の前身は青島海岸を望む「日新荘」。修学旅行生も受け入れる全36室の大型旅館で、日々忙しさに追われる中、当主の川越清文さんは常に不満を抱えていた。

「一言で言えば楽しくないんですよ。団体客は流れ作業で仕事をすることで満足感がない。通り一辺倒の宿ではなく、接客する我々も喜びが得られるような宿を建てたい。「地藏庵」はそんな思いから生まれた」

そして出来上がったのは木のぬくもりあふれる全6室の小さな宿。宿の顔とも言えるお地藏さまは、「日新荘」時代から30年来のつきあい。ある高僧が宿泊した際、「青島海岸で他界された方の霊

げだろう。それらは実家に帰った時のような、何とも言えぬ安心を感じさせてくれる。安らぎを与えてくれるのは部屋だけではない。宿の一番の自慢は温泉。重層の成分がふんだんに溶け込んだ湯は、とろみのある美容液のよう、肌を包み込む、ぬるっとした感触が心地よく、ずっと体を預けていたくなる。かつてない肌のしっとり感に感動しながら、待ちかねた夕げの席に着いた。塗りの小さな皿が所狭しとテーブルに並ぶ様は圧巻。宿のイメージにぴったりの精進料理は、いずれも手がこんでおり、味もバラエティに富む。野菜だけでこれほどの満足感が得られるとは正直驚いた。宿オリジナルの芋焼酎「地藏庵」のお湯割りが、優しい味付けに良く合う。ふけゆく秋の夜、地の恵みに感謝しつつ、心地よい酔いにゆったりと身を任せた。

翌朝、宿を発つ際にお地藏さまに再び手を合わせ、一路、日本有数のパワースポット、高千穂を目指す。途中、青島神社、鶴戸神社とこれまた強大な力を秘めた二大神社を参り、貪欲なまでにパワーを体と心に吸収する。聖なる気に満ちた高千穂で、自然界に存在する神々を感じつつ、旅は終りへ。得られた宝は平穏に満ちた心。これ以上のご加護はまたない。



## お地藏さまの宿 地藏庵

<http://www.jizoan.jp/>

今宵のお宿  
川越 清文 (かわごえ きよふみ) 地藏庵代表。  
昭和46年理工学部工業化学科卒業。20年前はまだ珍しかった6部屋だけの小型旅館「地藏庵」をいち早く地元で開業。一番の喜びは「お客様に喜んでもらうこと」。日々、お地藏さまの声に耳を傾け、義務ではなく楽しみながら宿を営む。

お地藏さまの宿 地藏庵  
ハイクオリティではなく「普通」をモットーに、押しつけがましくないサービスを提供する小さな宿。人の温度を感じる丁寧なもてなしは、訪れる人に安らぎを与えてくれる。隠れたパワースポットとしても知られる。  
宮崎県宮崎市青島1-6-4  
TEL. 0985-65-0039  
部屋数: 6室  
料金: 13,000円(一泊二食付) ~



階段の照明やさりげなく飾られた野の花にご主人のセンスがうかがえる



和洋が調和した離れの部屋「蔵間」



を慰めるため、お地藏さまを祀りなさい」と言われ、川越さんはその言葉に従った。宿の場所を移った今は子宝、安産のお地藏さまとして、宿を訪れる人々を優しく見守っている。

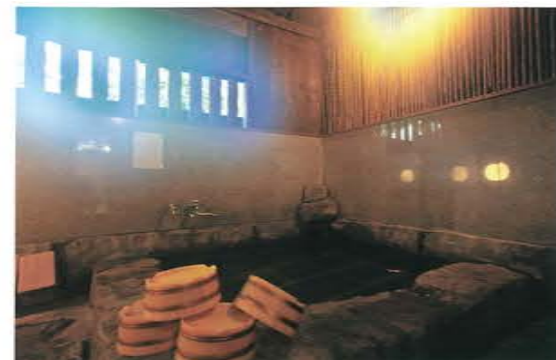
一時は商売変えや、アメリカでモーター経営も考えるほど悩むこともあったが、学生時代に山登りで養った忍耐力で困難を乗り越えた。今や宿は、子を授けてくれるパワースポットとして噂が口コミで広がり、押しも押されぬ人気に。川越さんは今の状況を「心底楽しい」と笑う。目指すのは「普通」。上を目指せばきりが無い。自身も楽しめるよう、無理をせず、精いっぱいのもてなしを心がけている。

普通と言いつつも、鏝絵、太い梁、オーダーメイドの家具と、しつらいは立派なもの。それでも身構えることがないのは、随所に飾られた野の花や、部屋に置かれた手書きのウェルカムメッセージといった人の温度を感じるもてなしのおかげ



夕食は地元の野菜を中心とした精進料理。三の膳まで見た目も味も飽きさせない

葉石かおり/平成元年文理学部ドイツ文学科卒業。エッセイスト



お湯はPH9.2~9.8のアルカリ性泉。それだけに美肌効果ばつぐんのお宝の湯

宿泊(1泊2食付) 13,000円相当、地藏庵特製の焼酎「地藏庵」とお地藏さま人形を抽選でそれぞれ3名さまにプレゼント。詳しくはP64をご覧ください。



◆青島神社・鶴戸神社  
日南地区は古来より霊域とされたパワースポットが点在。亜熱帯植物に囲まれた青島神社は海と大地の力を秘める。荒海を望む鶴戸神社は岩窟内に鎮座。その様は畏怖の念さえ抱くほど。海と神社、いずれもその対比が美しい。



◆高千穂  
宿から2時間かけ県北部の高千穂へ。切り立った岩と、清流をたたえる五ヶ瀬川が融合した名勝を見ていると、自分も景色の一部になったような錯覚に陥る。雨上がりに川面にかかったもやが幻想的な雰囲気を一層盛り立てる。

みどころ





心臓血管センター 北海道大野病院  
循環器内科・登山者外来 医師  
大城 和恵さん  
平成4年医学部医学科卒業

K a z u e O s h i r o



# 山で亡くなる人を減らしたい！ 山岳医療に情熱を注ぐ

昨年5月、三浦雄一郎さんが史上最高齢でエベレスト登頂。この偉業を支えたひとり、大城和恵さんは「国際山岳医」日本人第一号だ。近年、中高年層の登山ブームの影響もあり、国内の遭難者数は年間2400人を越える。救える命を救いたい……。大城さんは山岳医療の普及に情熱を注いでいる。

◆プロフィール  
大城 和恵(おおしろ・かずえ)  
昭和42年長野県生まれ。本学卒業後、第一内科入局。平成14年より北海道大野病院循環器内科に勤務。平成22年、英国にて国際山岳医の資格を取得。現在は日本で取得が可能になった山岳医資格の講師を務め、人材育成にも力を注ぐ。実践できる山岳医療を伝える講演多数。日本山岳協会医学委員、日本登山医学会山岳ファーストエイド委員長。●山岳医療情報 <http://www.sangakui.jp>



## 三浦さんのひたむきさに 命の尊さを実感

「遠征隊のヘッドライトは見えるのに、私たちが待機する場所までなかなか辿り着かない。小さな小さな一歩を繰り返してようやくその体を抱きとめたとき、健気ではかない命が愛おしくてたまりませんでした」

昨年5月、80歳で3度目のエベレスト(標高8848m)登頂に成功した三浦雄一郎さんが無事下山したときのことを、大城和恵さんは感慨深げに語った。  
日本人ではじめて「国際山岳

医」の資格を取得した大城さんが、遠征隊のチームドクターに選ばれたのは、遠征の1年半前。心臓専門医であることから、不整脈を抱える三浦さんの体調管理を中心に、本番に向けて入念な準備を行ってきた。

頂上アタックのとき、大城さんは標高6500mのキャンプ2で待機。無線でのやりとりで三浦さんたちの体調変化に対応した。「登頂ありきではない。生きて帰還させることが私の使命」。チームドクターとしての強い決意が、この偉業を支えたと言っても過言ではない。

## 山岳医療を学びに英国へ 「登山者外来」を開設

少女時代は自然に恵まれた長野県で過ごし、スキーに親しんだ。持病で病院通いをする母親に付き添ううち、人助けができる医師に憧れ、医学部に進んだ。「入学すると親元を離れた開放感で弾けちゃって(笑)。バイクでカナダやオーストラリアを巡ったり、いきなりキリマンジャロに挑戦したり。とにかくじっとしていられない性格なんです」

しかも、計画も行動もいつも単独。心惹かれれば、あれこれ考

える間もなく即行動。そんな学生時代だった。  
そのバイタリティーは医師になっ

てからも変わらず、休暇が取れると国内外の山へ。それはヒマラヤでのこと。大城さんは、トレッキング中に高山病の登山者に遭遇した。

「持てる知識で対応しましたが、専門知識があればもっと自信を持って対応できたのにと後悔が残りました。ヨーロッパに山岳医療の資格制度があると知ったときは、「勉強したい！」と飛びつきました」  
大城さんは循環器科の医師



三浦雄一郎さん(左)、三浦豪太さん(右)と  
(ミウラドリフインズ提供)



キャンプで



エベレストをめざす登山隊

として7年勤めた病院を辞めてイギリスへ。山でかかりやすい病気の知識はもとより、気象や雪崩、地図の読み方など山岳医療を広く学び、1年後に「国際山岳医」の資格を取得した。  
帰国後はその知識を求められて、北海道警察山岳救助のアドバイザーに。全国ではじめて山での救急現場に医療が導入された。また、渡英前に勤務していた病院に戻って「登山者外来」もスタート。仕事の幅は広がり、

その活躍が三浦隊への参加につながっていった。  
「三浦隊では素晴らしい経験ができて、多くの縁もいただきました。今後は「山で亡くなる人を予防で減らす」ことに力を注いでいきたいです。山での病死の半分は心臓。登山前に検査とアドバイスを受けることが安全な登山につながります。山の事故を減らして、多くの人に登山を楽しんでほしいですね」



海上自衛隊東京音楽隊 3等海曹  
三宅 由佳莉さん  
平成21年芸術学部音楽学科卒業

Y u k a r i M i y a k e



# 自衛官としてのまっすぐな思いを 歌声に乗せて届けたい

## 逃げ出したくなった 入隊直後の訓練

まっすぐに心に響く、透明感あふれる歌声が何よりの魅力である。昨年夏に発売された『祈り〜未来への歌声』でCDデビュー。23万人の自衛官の中で、唯一のボーカリストであることから『自衛隊の歌姫』として、大きな話題を呼んだ。

「CD制作のお話をいただいたときは、より多くの方々に歌を届けられるという思いでうれしかったですね。でも、こんなに反響が大きくなるとは思っていませんでした」と三宅由佳莉さんは驚きを隠さない。

隊員の士気高揚や自衛隊の儀式、広報などで演奏活動を行う海上自衛隊東京音楽隊。演奏の幅を広げる目的で一人の歌手を採用した。ミュージカル俳優を目指す、本学で音楽を学んでいた三宅由佳莉さんがその人だ。CDデビューをきっかけに『自衛隊の歌姫』として大反響を呼び、ピュアな歌声と確かな歌唱力で、多くの感動を生み出している。

大学の恩師の薦めで受けた自衛隊。しかし入隊してすぐに待ち受けていたのは、海上自衛官の基礎を学ぶ9カ月間の訓練だった。

## 自衛官として 歌で勇気づけたい

「ある程度予想はしていたんですが、入隊してもう2日後には逃げ出したくなるほど、衝撃的な訓練でした」

敬礼や回れ右などの基本動作をはじめ、カッター漕ぎ、ほふく前進、射撃といった厳しい訓練が続いた。

現在は、演奏活動が中心だが、その準備として音楽の練習はもちろん、演奏会の台本や進行表の作成といったデスクワークも仕事の一环となっている。

CDには、『花は咲く』『翼をください』『アメイジング・グレイス』などポピュラーな楽曲のほか、タイトルにもなっているオリジナル曲『祈り〜a prayer』が収められている。これは、河邊一彦隊長が作詞・作曲したものだ。

「東日本大震災の約5カ月後に完成した曲で、自衛官として国民の皆さまを勇気づけたい、心に寄り添いたいという思いで演奏を続けてきた曲です」と語る。

東北地方での演奏会では、笑顔の中に涙を浮かべながら「ありがとう」の言葉をかけられること

も多かった。

「それは私たち音楽隊だけに向けられたものではなく、救済活動に当たった多くの自衛隊員たちがいたからこそものだとおもいます」

三宅さんはもともとミュージカル俳優として舞台に立つことを夢見て、本学芸術学部に入學。

「音楽大学に進む気はまったくありませんでした。音楽のほかに、映画や演劇など、総合芸術が学べるという理由で入學したんです」

サークルは、ミュージカル研究会も考えたが、「一番ピンときた」という剛柔流空手道部に所属。空手と音楽という組み合わせは、



▲▼「いつも今を一生懸命に」というのがモットーという三宅さん。演奏会でも、目の前にいる聴衆の皆さんのために、一生懸命に誠意を尽くす思いで歌い続けている

現在も自衛隊員でありながらソプラノ歌手というミスマッチ感覚につながっているようだ。

「自衛隊に興味を持ったとき、躊躇せず飛び込んでいったのが良かったのかなと思っています。学生時代には想像しなかった、『まさか』の展開になっていますが、学生の皆さんも自分がこれだと思ったら突き進んでほしいですね」

三宅由佳莉さんの歌声が収められたCD『祈り〜未来への歌声』を抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP64をご覧ください。



▲学生時代には空手にも打ち込んだ。時間ができたら再開したいという(前列右端)



ミュージカル俳優を目指し、総合的に芸術を学べる場所として芸術学部に入學。オペラなどの公演も(写真中央)

東京大学  
 医科学研究所所長  
 清野 宏さん

昭和52年松戸歯学部歯学科卒業

# 米国留学でチャンスをつかみ 歯科医の道から研究者へ 飲むワクチンの研究で 新たな予防法、治療法を開発

常温保存が可能で、注射器・注射針が不要な飲むワクチンの開発が日本で進んでいる。しかも日本人の主食である米を利用したワクチンであるという。松戸歯学部を卒業後、米国留学を契機に医学系の研究者に転じ、粘膜免疫学という新しい学問体系の確立と粘膜免疫システムの基礎的解明、その臨床応用を目指した飲むワクチンの研究・開発に取り組んできた清野宏先生に、これまでの研究活動や成果について伺った。

## 「内なる外」である 粘膜で病原体をブロック

●これまで長年研究されてきた粘膜免疫学とはどのようなものか教えてください。

私たち人間の体をごく単純化すると、竹の筒のようなものです。外側が皮膚、内側は口か

ら始まって肛門にいたるまで粘膜に覆われています。粘膜は体の中にありますが、実際は直接外界に接しており、私は「内なる外」と呼んでいます。

これまで免疫というのは皮膚と粘膜の間、体の内部にある高次複雑系と呼ばれているさまざまな組織、臓器を病気から守る

という視点から考えられてきました。しかし病原体は、食べたり、飲んだり、呼吸したり、性行為などを通じて、粘膜面から侵入してくる場合がほとんどです。

そこで、粘膜面において病原体の侵入を阻止する免疫システムがあれば有効であろうということから発想されたのが粘膜免疫学です。

現在では、粘膜面に免疫システムが存在することは常識のように考えられていますが、当時はそうではありませんでした。例えば、腸というのは消化吸収の臓器であって、免疫組織とは考えられていなかったのです。

そこで私と仲間たちは、20年、

30年という長い年月をかけて基礎的なデータを積み上げて実証し、学問的、理論的な形成を行って、粘膜免疫学という学問体系を築いてきたのです。

●研究の成果であるコメ型ワクチンとはどんなものなのでしょうか。

現在あるワクチンのほとんどは注射型で、体の内部に免疫を作るといふものです。わかりやすく家に例えるならば、家の中におまわりさんを配備している状態です。病原体である侵入者は、玄関や窓にはまったく鍵がかかってないので、やすやすと体の中に入り、感染させてしまいます。そして体内に入ってきた病原体を捕ま

えて排除するというのがこれまでの免疫システムでした。

これに対し、腸の粘膜面にある防御機能を利用して、ドアや窓

に鍵をかけることができれば、病原体の侵入そのものを阻止できるという発想で研究・開発を進めてきたのが、経口的に投与する

コメ型ワクチンです。ただし、腸は消化管ですから、そのままではワクチンも分解されてしまっただけの中に入れません。

そこで細かく解析していくと、腸管の粘膜に、免疫を作り出すリンパ節のような組織が存在していることがわかってきました。それを

そこで細かく解析していくと、腸管の粘膜に、免疫を作り出すリンパ節のような組織が存在していることがわかってきました。それを

### ◆プロフィール

清野 宏(きよの・ひろし)

昭和28年長野県生まれ。松戸歯学部1期生として卒業後、米国アラバマ大学留学。58年同大パーミンガム校メディカルセンター医学系大学院博士課程修了。同大准教授、教授を歴任。平成6年大阪大学微生物研究所教授、15年東京大学医科学研究所教授、23年同研究所所長に就任。



が非常に重要な学際的な研究からブレークスルーは起きるといつていいでしょう。

彼は、知的好奇心から生まれた研究であっても、それは社会に還元できるものでなければならぬという「医道実学」を提唱し

●今後の目標やメッセージをお願いします。  
願っています。  
大きな夢としては、このコメ型ワクチンを契機に、「注射型ワクチンから飲むワクチンへ」というワクチン革命を起こしたいですね。

私がここまで研究を続けてこられたのは、テーマに興味があったし、おもしろかったからです。そして素晴らしい恩師と協同研究者の皆さんにめぐりあえたからです。学生の皆さんも、人から押し付けられたものではなく、自分が興味を持てるものを早く見つけてほしいですね。

私の経歴を見るとわかるのですが、アラバマ大学をはじめ、いろいろな研究機関を渡り歩いています。一カ所にどまるのではなく、自分の研究にとってベストな環境を求めていった結果です。  
新しい発見や研究を生み出すには、異文化との出会いや、学問においても異分野との遭遇、融合

●現在の所長を務めている東京大学医科学研究所はどのようなところですか。  
この研究所は、研究者が思う存分、自分の知的好奇心のもとに研究ができる環境が整っています。これは、血清療法を生み出した北里柴三郎先生が、明治23年に創設した伝染病研究所が前身になっていることも大きく影響しています。

病気や生命現象の真理を探究し、それを新しい予防法や治療法に結びつけるという哲学が、脈々とこの研究所には継承されています。  
●今後の目標やメッセージをお願いします。  
願っています。

飲むワクチンという、開発途上国向けと考えられがちですが、東北大地震のときのような災害時にライフラインが途切れて、電力供給ができず、冷凍保存ができないような場合でも、常温で2年から3年程度備蓄保存できるワクチンは非常に有効です。世界中で感染症の予防に役立つといいでしょう。

でした。当時、口腔の領域で、う蝕（虫歯）の原因が、ストレプトコッカス・ミュータンス菌であることが発見されたのです。  
そこで松戸歯学部では、アラバマ大学の歯学研究所と国際共同研究を行い、口腔内の粘膜に免疫システムを作ることで、虫歯を予防できるのではというプロジェクトを開始しました。  
思いがけず、卒業後にアラバマ大学に留学できる機会を得て、その研究に携わることが、私にとって粘膜免疫学研究のスタートとなったのです。

コメ型ワクチンにしても、医学という枠にとどまらず、農学系、遺伝子工学系などとの連携やネットワークがあったからこそ生まれてきたのです。  
アップルパイはみんなで食べるとなくなってしまうと考える人もいますが、私はアップルパイはみんなで食べれば食べるほど大きくなる、おいしくなると思っています。それはなぜかという、アップルパイを食べるときのいろいろな知恵や技術を持った人が集まってくるからです。そこではお互いプラスとなる相互利益が生まれ、ウィンウィンの関係ができるのです。

今でこそトランスレシヨナルリサーチや、大学発ベンチャーといった言葉がありますが、研究から生まれた成果・技術を社会に還元し、そこで生まれた利益によってさらに研究を進展させることを当時から実践していたのです。  
●今後の目標やメッセージをお願いします。  
願っています。

飲むワクチンという、開発途上国向けと考えられがちですが、東北大地震のときのような災害時にライフラインが途切れて、電力供給ができず、冷凍保存ができないような場合でも、常温で2年から3年程度備蓄保存できるワクチンは非常に有効です。世界中で感染症の予防に役立つといいでしょう。



1期生として入学した松戸歯学部では、ゴルフ部で活躍



消化管関連リンパ組織と呼んできます。消化管で破壊されずに、そこまでワクチンを届けることができれば、飲むワクチンとして成功に近づけることができます。  
また、新しいワクチンの開発を考えたとき、先進国ではワクチンの冷蔵保存が簡単にできますが、開発途上国では非常に困難です。そこで常温保存が可能なワクチンという目標が出てきました。  
さらに注射型ワクチンでは二次感染を防ぐため、注射器、注射

針も使い捨て型のものを使い、それを毎年何億人にも使うとなると、医療用産業廃棄物としての問題も出てきます。また、使い回しによる感染も無視できません。経口ワクチンなら注射器、注射針が不要というメリットもあります。  
こうしたさまざまな課題を解決するのがコメ型ワクチンなのです。常温保存ができるのは何だろ、極めて単純な発想から思いついたのが、ふだん私たち日本人が



アラバマ大学バーミングハム校メディカルセンターの研究者仲間と(中央列左から2人目)



常温で保存でき、注射器、注射針が不要というコメ型ワクチンは、水耕栽培の米から生み出される

主食としているお米だったので。そうして農学系研究者と連携し、遺伝子操作によって、米のたんぱく貯蔵体にワクチン抗原を発現させる技術を私たちの研究室の助教たちを中心として確立しました。さらにこれは意図しないものだったのですが、このたんぱく貯蔵体はきれいなカプセル状をしており、偶然にも消化酵素に破壊されずに、消化管関連リンパ組織に取り込まれることが証明されたのです。  
現在は、マウス、ブタ、サルでの実験を終え、ヒトでの安全性を試験する段階に入っています。この医科学研究所の中に、安全基準をクリアした完全閉鎖系で、人工太陽、人工風、水耕栽培でワクチン米を栽培しています。そこで生まれた MucorRice（ムコライス）

と呼んでいるコメ型ワクチンをボランティアの方々のご理解と協力を得て臨床試験を行っています。実用化されれば、服用の仕方はいろいろと考えられます。例えば米を粉末にして、散剤やカプセル、錠剤として服用する方法、あるいは米汁にして飲む方法もあります。子ども向けなら、あめ玉のようになめて服用することもできるでしょう。  
●異分野との遭遇、融合から生まれたブレークスルー  
●こうした研究が成功した鍵は、どこにあるのでしょうか。  
私は松戸歯学部で1期生として入学しました。当時は学生や教員も新しい歯学部を創造するんだというフロンティア精神があふれていたように思います。  
粘膜免疫学という考え方が生まれてきたのは、私がおこなった松戸歯学部を卒業する前ぐらいの時期



平成19年には、「粘膜免疫の基礎的解明と学問的体系確立」の研究業績がたたえられ、第51回野口英世記念医学賞を受賞。授賞式には小泉純一郎元首相も列席



# 江戸の「粹」を今に伝える 繊細な柄と色で 庶民生活を彩る江戸小紋

室町時代、武器に施したのが起源と言われる小紋は、自然事象や生き物を小さな模様にし、型紙で染めたもの。江戸では、贅沢を禁じられた町人の間で、近寄りなければ無地に見えるほど繊細な模様を地味な色で楽しむように発展した。模様と色による無数の組み合わせの奥深さ、忌み言葉を身につけて厄を落とす遊びもはやって、昭和に江戸小紋と名付けられてからも、本物志向の人々に、根強い人気がある。数えるほどしか着物を着たことがないのに、この渋さに見惚れるのは、私が歌舞伎役者の父と呉服屋の血を引く母に育てられたせいだろうか。

「昔は極限まで細かく彫った模様が、型紙職人から染め職人への挑戦状のようなものだっただけです。職人というのは、難しいことを言われたほうが燃えますからね」

巧緻な模様が作り出す緊張感に息を潜める私にそう話してくれたのは、五月女染工場二代目の五月女利光さん。物心ついたときには職人の仕事を眺めるのが日課で、中学受験の面接で、家業を継ぐ宣言をした骨髄までの職人。

伝統的手法を守りながら一歩先を目指し、平成18年には写真中央の手綱柄が200点余りの作品から経済産業大臣賞に選ばれた。四十八茶百鼠と言われる色作りを染め職人の醍醐味と話す。というのも、染料の配分だけでなく混ぜる順番でも仕上がりが変わるため、研究や長年の経験による勘が必要な工程なのだ。それを伊勢で彫られた30センチ四方ほどの型紙で、13メートルにもなる布に染めていく。型紙が湿気で伸縮して模様がずれないよう、天候にも気を配る。長時間同じ姿勢での細かい作業は腰や目への負担も大きい。その後地色を塗りつけ、気温や気圧を考慮しながら蒸し、井戸水で洗い、乾燥へ。すべての工程が綿密に行われて、作品は完璧なものとなる。

江戸小紋を語る五月女さんは、内面とは裏腹に、スマートなビジネスソンのよう。

「喜ばれるものを作るには、『べらんめえ』の職人ではいけないですよ。お客さんとよく言葉を交わして、意向をくみ取るクリエイター」



## 株式会社 五月女染工場

東京都墨田区東駒形4-13-13  
TEL:03-3622-5680

五月女 利光(さおとめ・としみつ)  
昭和48年商学部経済学科卒業。有限会社五月女染工場代表取締役。東京染小紋伝統工芸士、東京都伝統工芸士会会長、東京都より伝統工芸後継者表彰(平成元年)、国指定伝統工芸師(平成7年)、伝統工芸功労者表彰(平成14年)、全国小紋友禅染色競技会経済産業大臣賞受賞(平成18年)など受賞・表彰歴多数。毎年染色のコンクールに新作を出品するほか、少なくともあつらえ染めにも意欲的。

有限会社 五月女染工場  
昭和15年、墨田区寺島(今の向島)で先代が創業。経済産業大臣指定伝統的工芸品である江戸小紋の手染めにこだわり、年間1,000反ほどの手染め製品を生産。一部のあつらえ染めを除いて、小売りは行っていない。

ターにしなければならない……」

これだけ手の込んだものであるのに、一番の用途は普段着というからまた贅沢。紋をつけるだけでセミフォーマルになるが、特別なことをせずに着るのが一番だとか。

「最近はいんくジェットでプリントするお手軽なものも増えてきた。そんな時代には頑固さを見せた五月女さん。その背中を見て

きた。長男が、染色の専門家として助けてくれるようになった。お嬢さんとお嫁さんは手描きの職人。若いアイデアと感性を融合させ、江戸の美学「粹」を体現する小紋を、さらに未来へとつないでいく。

美しい反物を見ているうち、粹に着こなして歌舞伎見物に行く女性が頭に浮かび、がさつな私も思わず背筋を伸ばした。

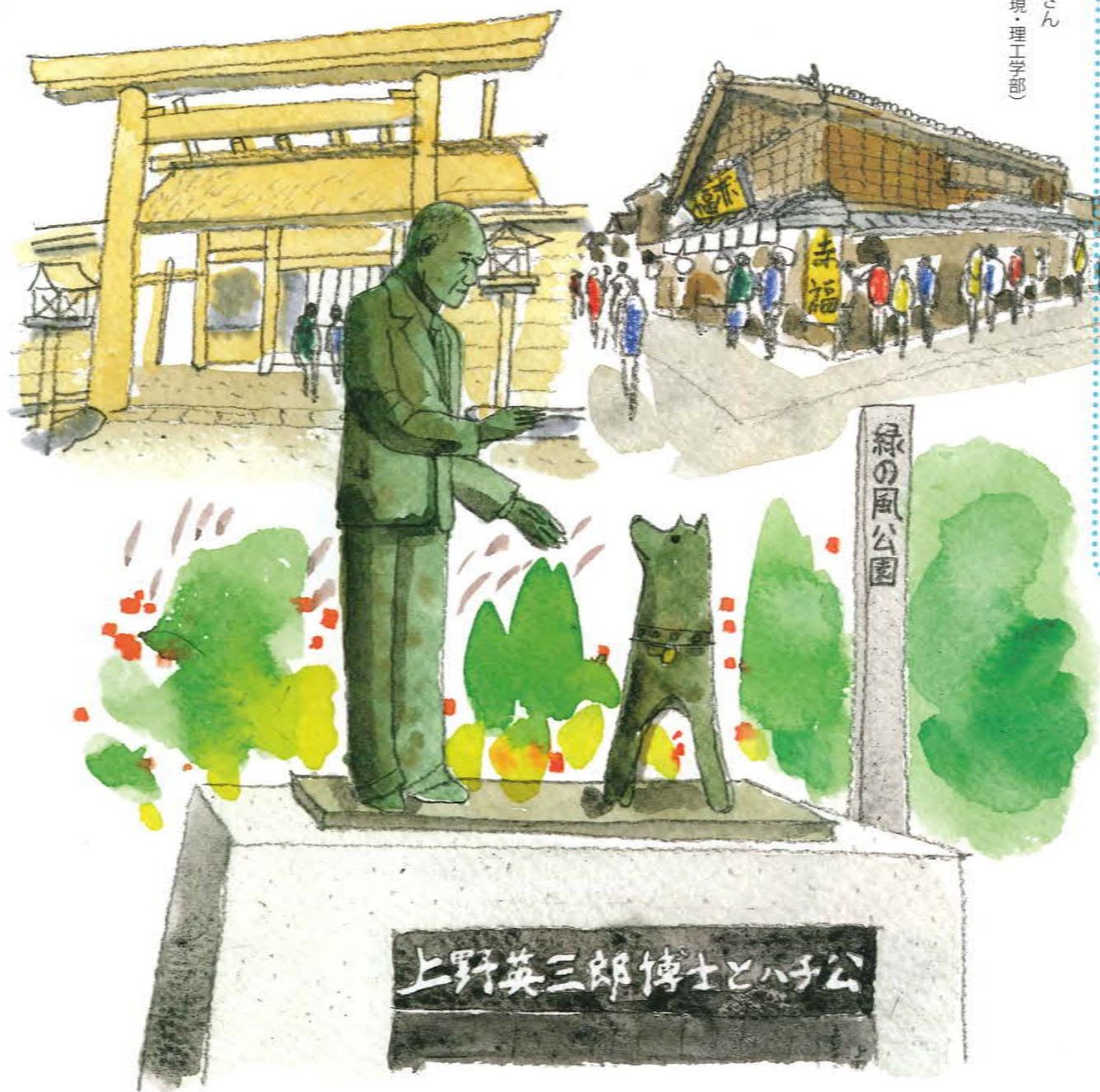


礼賛

上野 一人さん

昭和36年工学部(現・理工学部)建築学科卒業

ふるさと案内人



◆「上野英三郎博士とハチ公」像

近鉄久居駅東口の「緑の風公園」にある。愛犬家であった上野英三郎博士は秋田犬が欲しいと秋田県・大館から仔犬のハチを取り寄せて飼い始めた。ある日、博士は勤めていた東京帝国大学内で急逝。それを知らないハチは約10年間、主の帰りを渋谷駅前待ち続けた。銅像はハチが上野博士を愛おしそうに見上げる姿が表現されている。

なかだえり/平成9年生産工学部建築工学科卒業。イラストレーター

忠犬ハチ公の飼い主が生まれ育ったまち  
銅像建立を契機に温厚な風土に活気を

ハチ公といえば東京・渋谷駅前のイメージが強いと思いますが、一昨年の10月、私の故郷・三重県津市の久居の駅前に「上野英三郎博士とハチ公」という銅像が立ちました。ハチの銅像は生まれ故郷の秋田県大館にもありますが、飼い主に可愛がられる姿を表わした像は日本でもここだけです。なぜ、津にお目見えしたのかといいますと、久居に生まれ育った私の祖父・上野英三郎が飼い主だったからです。英三郎は、作物生産のための基盤整備に必要な土木技術などを研究する農業土木・農工工学の創始者で、後に東京帝国大学教授として教鞭をとっていました。ハチを飼い始めたのはその教授時代の大正13年、渋谷に住んでいた時のことです。

さて、津は三重県中部にある県庁所在地。世界一短い地名、世界一短い駅名としてギネスブックに掲載されていますが、気候が温暖なため地名とは逆に土地の人はのどか。日本二大都市のうちの一つ、名古屋と大阪に行くのに便利な所です。江戸時代にはお伊勢参りの宿場町として大いに栄え、伊勢音頭に「伊勢は津でもつ、津は伊勢でもつ」と詠われました。

そんな歴史、地の利がありながら、最近はいま一つ活気に乏しかったというのが実情です。そこで、4年ほど前に英三郎とハチの像を立て、ゆかりの大館、渋谷と手を結んで当地を盛り立てようという動きが市民の間で起りました。そして「上野英三郎とハチの銅像を建てる会」が発足。おかげさまで多くの方から寄付をいただき、一昨年、無事に除幕式を迎えることができました。故郷は大河ドラマ「江」の舞台になりましたし、近くには式年遷宮で沸いた伊勢神宮、夫婦岩で知られる名勝の二見浦があります。ぜひ銅像をご覧にわが津へ、そして三重県へお越しただければと思っています。



◆プロフィール

上野 一人(うえの・かずと)  
昭和12年三重県生まれ。本学卒業後、清水建設に入社。発電所工事などに携わる。その後、地元の建設会社勤務を経て、昭和58年、三重県議会議員選挙に出馬し当選。以後、平成15年まで5期を務め、その間、県議会議長などを歴任した。現在、「上野英三郎博士とハチ公の銅像を守る会」会長として、大館、渋谷と連携し、津の活性化に尽力している。



伊勢神宮の学業御守を抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP64をご覧ください。

みどころ ●津市と周辺



◆伊勢神宮

内宮と外宮があり、昨年は20年に一度、両宮正宮の正殿をはじめ、別宮以下の正殿を造り替えて神座を遷す式年遷宮が行われた



◆おはらい町・おかげ横丁

伊勢神宮内宮前の宇治橋へと続く参道がおはらい町。おかげ横丁はおはらい町の一角にあり、古い建物が移築され、昔の街並が再現されている



◆伊勢うどん

伊勢名物のひとつ。太くやわらかな麺を、少し甘めの黒く濃厚なつゆで食べる。つゆは一般的なうどんより少ないのが特長



◆河崎

伊勢市を流れる勢田川。その川を利用した水運で江戸時代、栄えたのが河崎のまち。現在は古い建物を利用した伊勢河崎商人館などの施設や飲食店がある



◆二見浦

夫婦岩で有名な景勝地。かつてはお伊勢参りの人々の身を清める場所や旅館街として栄え、皇族が利用した休憩・宿泊所である賓日館や木造三階建ての旅館が昔の賑わいを物語るかのように残る



# 福田富一

栃木県

首長  
に聞く



Tomikazu Fukuda

故郷に愛着のある人、ない人。その違いはなぜ生まれるのだろうか。福田富一知事は、「誇り」をもてるか否かの差が大きいと考える。その基礎はもちろん、住みやすく、豊かな町。しかし、独自の優位性や知名度など、外部との比較・評価もまた重要な要素だ。誇りをもてる故郷を造る。県政のトップが追求するのは、そんな政治だ。

## 知事

昭和54年理工学部  
建築学科二部卒業

「栃木県はいま、安心と成長を軸に、日本一元気な県を目指しています。特に安心は、まず優先すべきテーマ。原発問題に加え、女性の平均寿命が全国ワースト2位という、不名誉な記録がある。3期目の公約でも「健康長寿の栃木づくり」を掲げましたので、条例を整備して、絶対に汚名を返上したい。安心して暮らせる県を目指す上で、避けては通れない課題です」

同県は気候条件や水の豊富さなどから、多くの作物の南限・北

### 安心と成長をテーマに 日本一元気な県を目指す



長瀬町立長瀬中学校  
教諭 越智 絢菜先生

平成24年文理学部化学科卒業

◆プロフィール  
越智 絢菜(おち・あやな)  
平成2年埼玉県生まれ。埼玉県の中学校教員採用試験に合格し、本学卒業後長瀬中学校に赴任。新卒採用で、生まれ育った地域の学校に配属されるケースは珍しいという。理科の授業を受け持つほか、今年は2年生の副担任、部活動では女子バスケットボール部の顧問を務めている。

### まだまだ駆け出しの新米教師 多感な生徒たちと一緒に成長したい

「中学生って、とても多感な時期。ほんのわずかなことで変わっていきます。そんな生徒たちにできるだけ関わって、一緒に成長していきたいですね」

自分自身も中学生時代に、担任の先生のおかげで、なくしかけていた友人や学校との信頼関係を取り戻すことができた。そのことがきっかけで、中学校の教師を目指すようになった。

それでも教師になりたてのころは、大学時代に思い描いていたイメージと現実とのギャップに思い悩まされることもしばしばだったという。

「生徒指導が思うようにできず、つらい思いもしました。でも今は、そんな生徒にもいろいろな背景があることがわかって、だいぶ対応できるようになりました」

学校がある長瀬は、岩畳と呼ばれる奇岩に富んだ断層谷や岩石段丘など自然の景観も豊かで、「日本地質学発祥の地」として知られる。担当する理科の授業では、そんな特色を生かした授業も行いたいという。

「まだまだ通常の授業で手いっぱい。学校の外に出かけての授業は今後の課題ですね」

そうは言いつつも、できるだけ多くの生徒が実験器具に触れられるよう、5~6人ずつの班を3~4人の少人数編成に変更するなど、自分なりの工夫も始めた。

「まだまだ多くのことを学びたいです。部活動でも、自分が知っている練習メニューだけでは足りない。どうやったら強くできるかと、いろいろ考えすぎて夢にまで見たこともあります」

理想とする先生像については、「現場でいろいろな先生方に接して、この先生みたいになりたいとか、あの先生のこの部分はまねしていきたいとか、今は迷っている状態です。でも、生徒たちから信頼されて、この先生ならついていきたいと思われるのが一番ですね」

やりがいを感じるのは、生徒たちが授業で「わかった!」とき。校内の教師の中では一番若く、生徒と年齢も近いことから、相談を持ちかけてくる生徒も多いという

### 一刻も早い安全性の確保と 地元産業の活性化を推進

原発事故により、栃木県はこれまで2市3地区に避難勧告が出されている。風評被害も残っており、山菜類は出荷停止が続いている状態。福田富一さんが総力戦で取り組んでいるのは、一刻も早く安全を確保し、地域住民が安心して暮らせる町への復興だ。今年度中の避難勧告解除を、喫緊の課題にしている。

「栃木県はいま、安心と成長を軸に、日本一元気な県を目指しています。特に安心は、まず優先すべき



◆プロフィール

福田 富一（ふくだ・とみかず） 昭和28年栃木県生まれ。47都道府県で唯一、本学出身の知事。9年間県庁に勤務した後、宇都宮市議会議員選挙に出馬。初当選を果たす。その後、県議会議員、宇都宮市長と着実に歩を進め、平成16年、栃木県知事に就任。現在、本学および獨協医科大学の客員特任教授を務めるほか、地元で政治塾の主催を予定しつつ生き方の指南や、引きこもりに悩む若者の社会復帰支援などを行っている。座右の銘は「先憂後楽」\*。  
\*住民に先立って地域のことを思い、住民が楽しんだあとに、自分の楽しみを考えること。



学生時代に培った信念で  
やるべきことをやり抜く

地元の工業高校を卒業後、県庁に就職。建築物の設計図を検査・確認する仕事を担当した。しかし、終業後の時間をもてあます毎日。「このままでもいいのか」という思いが日増しに募り、仕事を続けながらの進学を決意。建築学科二部に入學した。

「当時、お茶の水までの往復が5時間。しかも、建築学科は課題が厳しく、4年間で卒業できるのは学年の3分の1程度。仕

事と勉強つけの毎日で、両親からは『死ぬからやめろ』と本気で言われました（笑）」

しかし、苦闘が実り無事4年間で卒業。「本気で努力すれば、人間できないことなどない」という自信を得た。その後、2年間県庁に勤めたが、地域にもっと貢献したいという強い思いから、政治家を志した。

「退職するとき、いずれ知事として戻ると本気で宣言しました。綱渡りのような歩みではありましたが、何とか実現できました。できると思えばできる。大学時代の信念に支えられてここまでできま

した。

何よりもありがたかったのは、周囲のご支援です。志を立てて一生懸命努力すれば、必ず支援してくださる方が現れる。日大の人的ネットワークの大きさ、絆の強さにも、どれだけ助けられたかわかりません」

県庁時代から、徹底した現場主義。政治家として30年、「出前の政治」を掲げてどこにでも赴き、住民の声に耳を傾けてきた。その姿勢に変わりはない。栃木県存在感を確固たるものにすべく、走り続けている。



宇都宮市大谷町で採掘される大谷石のプレート・ギフトセットを抽選で3名さまにプレゼント。詳しくはP64をご覧ください。

とちぎ元気フォーラム



ブランド力を上げながら  
県民の意識改革に努める

有為な「人づくり」も、大きな目標だ。小中学校の学力差をなくすため、独自の学力度調査を今年から開始する。成績が低かった地域については、原因究明と改善策を講じていく予定だ。また、全19校の大学、短大、高専と協力関係を結び、グローバル人材の育成にも乗りだした。

「第一線を退いた高齢者にも、能力を活かす場を提供したい。

対外的なPRも忘れていない。東京スカイツリー開業にあわせ、アンテナショップを出店したほか、県出身の著名人に「とちぎ未来大使」として県産品をアピールしてもらおう、宿泊施設を割安に利用できるチケットを発行するなど、数々の施策で観光客を呼びこんでいる。

限として知られる。その立地を活かし、「フードバレー栃木」という食品関連産業を振興している。もちろん、成長を目指す戦略の一つだ。

「自動車、航空・宇宙、医療機器、光、環境の重点5分野を指定した振興策も進めています。環境以外の4分野は、世界レベルの企業がズラリと軒を連ねており、当県の大きな強みです。環境については、太陽光、バイオマスエネルギー、水や空気の浄化などに取り組む企業を積極的に支援しており、今後の成長に期待しています」

企業や地域のニーズ調査を実施して、必要な人材をマッチングする仕組み作りを進めています。人づくり十人を活かすことで、もっと元気な県を実現します」

県政を担うようになって9年目。県民の変化も感じている。同県は都心に近く、通勤者も多い。そのため、気持ちとしてあまり愛着をもてない県民もいた。しかし、この4、5年でそんな意識が払拭されてきたという。

「当県はブランド力が弱いんです。日光、那須、益子焼、とちおとめ、餃子など、著名な土地や商品は山ほどあるのに、それが県と結びつかない。どうしたらいいかと考えたとき、やはり大切なのは、県民に誇りをもってもらうことなんです。それを訴え続けてきた結果、間違いなく意識変革が進みました」



- ① 栃木県庁
- ② 県庁最上階から東京方面を望む。スカイツリーが見えることも
- ③ 県のマスコットとして人気の「とちまるくん」
- ④ 秘湯として名高い奥鬼怒温泉郷
- ⑤ 日本で最も古い学校として知られる足利学校(国指定史跡)
- ⑥ 豊かな自然が残る奥日光の名所、中禅寺湖と男体山
- ⑦ 県民との交流の場として「とちぎ元気フォーラム」を開催



◆栃木県  
国際的な観光地である日光をはじめ、那須高原、数々の温泉郷など豊かな自然資産を誇る。世界遺産の東照宮、名門足利氏の「足利学校」など、歴史的にも重要な遺構がある。農作物の特産地でもあり、かんぴょうは全国98%のシェア。「とちおとめ」も日本一の生産量を誇るブランドいちごとして有名。



あさり・しじみ漁が盛んな宮城県名取市閑上地区は、津波で壊滅的な被害を受けた。船を失った閑上の漁業者にエンジンを寄贈した沙留漁業協同組合長・横内武久さん。一漁師として抱く、復興への思いを聞いた。

沙留漁業協同組合  
代表理事組合長  
横内 武久さん

昭和46年農獣医学部畜産学科卒業



本学卒業後は故郷岩手県で畜産農家の指導に当たっていたが結婚を契機に漁業へ転身。そのパイプを生かし被災地の漁業復興に尽力している

復興への  
歩み

## 漁師として力になりたい 閑上あさり漁業者にエンジンを寄贈

## 被災者に寄り添った日々を 忘れず未来につなげたい

日本赤十字秋田看護大学  
教授  
細越 幸子さん  
昭和61年通信教育部  
文理学部文学専攻(国文学)卒業

長年、岩手・秋田の両県で看護教育に携わってきた細越幸子さん。勤務する日本赤十字秋田看護大学では学生を中心に、大きな被害を受けた岩手県陸前高田市で、約2カ月間にわたってボランティア活動を展開。当時の様子について伺った。



インタビュー中、震災直後のことを思い出し、涙を抑え切れなかった細越さん。「看護の基本は、その人にとって何が必要かを察知して提供すること」だという

日大同期の「エンジン  
余ってないか？」がきっかけ

北海道には地震や津波の影響はありませんでしたが、私は岩手県の出身なので、ニュースで変わって果てた大船渡や宮古の映像を見るたびに胸が痛みました。

被災地へは北海道漁連を通して義援金を送りましたが、「もっと具体的に力になりたい」という思いがあらながらも何をすべきかわからない。そんなとき、農獣医学部の同期で、当時北海道漁連の専務を務めていた小倉さん

から「小型漁船のエンジンが余ってないか？」と連絡を受けました。話を聞くと、「宮城県名取市閑上にあさり・しじみ漁業者の方たちが船を失うなど甚大な被害を受けた。三重県漁連などから小型船13隻を寄贈されたが、エンジンが未装備だという。同じ漁業者として力になれないだろうか」とのことでした。それならばと、すぐに沙留漁協で新品のエンジン5台を用意しました。

漁師が漁師らしく  
希望を持って生きられる日を  
エンジンの贈呈式には、名取市長はじめ閑上の漁業関係者も出

名取市での贈呈式を報じる河北新報(平成24年2月11日付)



ホタテ、サケなどオホーツク海の幸に恵まれた沙留漁港

**アサリ・シジミ漁の力に**  
名取 善意の船外機8台届く

東日本震災で被災した名取市閑上のアサリ・シジミ漁業者10日、北海道の漁船から漁船用エンジン8台が寄贈された。

贈呈式では、名取市長(左)と、アサリ・シジミ漁業者の代表者(右)が、漁船に搭載される小型の船外機(シジミ漁船)の他、沙留漁協の他、北見市(北見市)が1台、水産部の仙台水産(仙台市)が2台を贈った。

震災で船が全て流された閑上地区の漁業者は、三重県漁連などから小型船13隻が贈られたが、一部の船でエンジンの確保ができていない。

エンジンの目を注ぎ、名取市長は「漁業者の復興に少しでも貢献したい」とお礼の言葉を述べた。

寄贈されたのはアサリ・シジミ漁業者の代表者が「漁船を復元し、漁業に少しでも貢献したい」とお礼の言葉を述べた。

名取市漁業協同組合で開かれた贈呈式に、名取市長(左)と、アサリ・シジミ漁業者の代表者(右)が、漁船に搭載される小型の船外機(シジミ漁船)の他、沙留漁協の他、北見市(北見市)が1台、水産部の仙台水産(仙台市)が2台を贈った。



2カ月間のボランティア活動をまとめた小冊子。第1班～9班まで、のべ146名が参加した



2011.06.04  
避難所から車で30分ほど離れた場所にある公民館を宿舎に、自炊しながらボランティア活動を行った。学生たちはそれぞれが力を発揮し、自信をつかんだ

学生とともに  
陸前高田で被災者支援

震災が起きたのは、金曜日の午後2時46分でしたが、学生たちはその直後の土日にはもう地元秋田で募金活動や救援物資の仕分けなどを手伝っていました。やはり赤十字の使命を感じていたのだと思います。教職員もじっとしてられない気持ちでしたので、大学をあげて何かできないかというところで、岩手県陸前高田市立第一中学校にできた「絆の丘」という避難所で、ボランティア活動を行うことになったのです。

平成23年6月から8月の2カ月間、毎週水曜から土曜

日までの3泊4日の日程で、9班に分かれて交代でボランティア活動を行いました。学生と教職員の1班20名ほどで、マイクロバスで2時間ほどかけて陸前高田まで行きました。

現地での活動は、避難されている方々の生活支援が中心でした。物資の仕分けや炊き出しの手伝い、子どもたちと遊んだり、高齢者のお話をしたりしました。背中に赤十字のマークが付いたユニホーム姿の学生たちを心待ちにしていた子どもたちとのお話を村長さんの「世界中の人たちから物資を、皆さんからは心をつな

先輩に・  
**INTERVIEW**  
インタビュー

# 土木 の仕事

土木事業や土木工学は、英語では、市民のため、公共のための事業、学問を意味します。人々の生活基盤を支えるモノづくりにかわるこの分野に、日本大学は多くの優れた人材を輩出してきました。そして、さまざまな現場では、そうした本学の伝統のなかから巣立った卒業生たちが、今日も第一線で活躍しています。

今回は、生産工学部土木工学科で学ぶ関根健さんが、佐藤工業株式会社で、金町浄水場の工事作業所所長を務める勝又哲也さんにインタビュー。また、多種多様な土木関連事業の現場で、現場監督や所長として活躍する校友の皆さんに、土木の仕事とはどのようなものか、またその魅力についてうかがいました。



Shinji Kitazawa



Hiroki Hayashi



Manabu Ono



Tetsuya Katsumata

## 復興への 歩み

席されて、漁師さんと直接お話しする機会がありました。しかし、面と向かうと「大変でしたね」というあたりまでの言葉しか出てこない。気持ちを察すれば察するほど、何と言っているのかわかりませんでした。

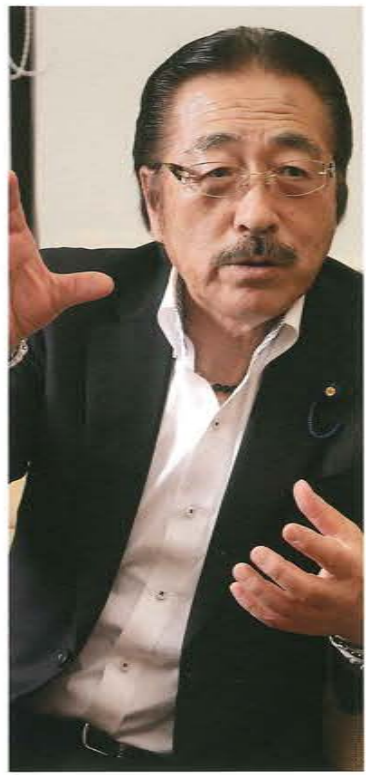
その帰り道、宮城に住む従兄弟に仙台港から空港まで車で送ってもらったのですが、当時、震災から1年近くたっていたのに復興の気配はなく、元の街の姿が思い出せないくらい跡形もない中に、がれきだけが積み上げられている光景がありました。

あの日からさらに2年。港もぼちぼち使えるようになったとはい

え、まだまだ不十分な状況。正直、復興の遅さに立ちを感ずるにはいられません。国はのんびりすぎでしょう。漁師が漁師として生きていける体制作りを急がなくてはなりません。

オホーツク海も津波の影響こそありませんが、その後の原発事故の風評被害で、香港、韓国などがホタテを買わなくなるなど、売り上げに影響が出ています。

全国的に漁業は厳しい状況にありますが、同じ漁業者として、被災地の漁師さんたちが、早くもとの生活を取り戻し、誇りを持つて漁に出られる日がくることを祈るばかりです。



◆プロフィール

横内 武久(よこうち・たけひさ) 昭和23年岩手県生まれ。卒業後、岩手県経済連に入社。畜産担当員として勤務の後、昭和59年、妻の実家の鮭定置網漁業を継ぐべく北海道興部町へ。異業種の経験を生かして作業の効率化を図り、オホーツクの漁業を牽引する。趣味は学生時代から続けている空手(七段)。全国漁業協同組合連合会理事を務める。

◆プロフィール

細越 幸子(ほそこゑ・さちこ) 昭和16年盛岡県生まれ。盛岡赤十字看護専門学校で看護教育に携わりながら、本学通信教育部にて学ぶ。平成10年岩手県立大学看護学部講師。12年山形大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)修了。14年岩手県立大学看護学部准教授。18年日本赤十字秋田短期大学教授、21年から日本赤十字秋田看護大学教授。



赤十字精神のもと  
今後の活動を模索

私はずっと看護学校の教師をしていたのですが、もう一度自分も学ぶ立場に戻って、学生の気持ちを理解しようと思いついたのがきっかけです。

このような大災害はあつてほしくないことですが、学生たちはこの活動を通じて貴重な経験を積み、将来看護職者として成長していくうえで多くのことを学んだことと思います。

震災から間もなく3年がたとうとしています。被災地で求められていることも変わってきており、今後は仮設住宅で暮らす人々の手助けをできないだろうか、赤十字を通じて模索しているところです。

4年生の卒業研究の指導に当たる。平成21年に開学した秋田赤十字看護大学は設備も新しく、赤十字病院も隣接しており、看護学を学ぶには最高の環境にある



「残っていました」という言葉が印象に残っています。

かけで、日本大学の通信教育部で学ぶことにしたのです。仕事と子育てをしながらの勉強でした。その後、4年制大学で教えることになり、修士を取りたいという理由で大学院(修士課程)に進学しました。岩手では、明治29年の三陸大津波の翌年から赤十字によって看護教育が始められたという歴史がありました。そこで、二陸大津波と看護をテーマに修士論文を書いたのです。津波の知識はあったものの、今回実際に見た被災地の様子には、大きなショックを受けました。

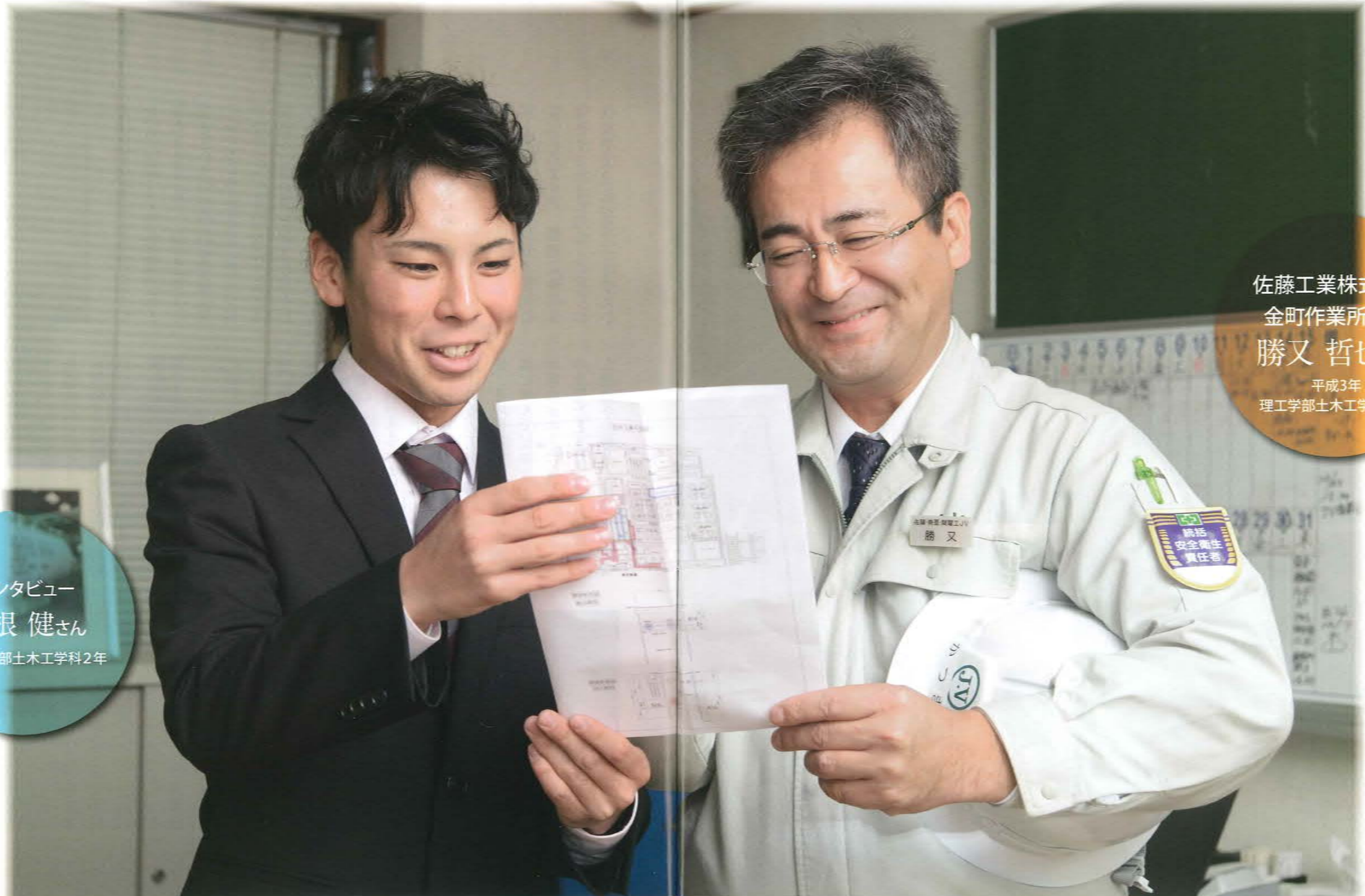


土木  
の仕事

# 現場は生き物 創意工夫を持って 事業に挑む！ 社会貢献が実感できる 魅力的な仕事

関根健（生産工学部土木工学科2年）さんが  
工事作業所所長の勝又哲也さんに聞く

佐藤工業株式会社  
金町作業所所長  
勝又 哲也さん  
平成3年  
理工学部土木工学科卒業



生産工学部2年の関根健さんは、橋やトンネルなどに興味を持ち、土木工学科で学んでいる。将来は土木の仕事に就くと決めているが、現場で活躍するためには、どのような能力が求められ、何を身につけておくべきなのかを知りたいと思った。多くの土木現場を指揮してきた勝又哲也さんを訪ね、仕事の現実と魅力、そして学生時代に準備できることをうかがった。

トンネル工事に憧れて  
土木の世界へ

——現在、勝又さんが取り組んでいるプロジェクトはどのようなプロジェクトですか？

水道事業です。葛飾区金町浄水場には高度浄水施設や現在建設中の送配水ポンプ所（仮称）などの施設があるのですが、それらの施設同士を管路にて連絡する工事に取り組んでいます。管の直径は2.7メートルあるので、これは国内でも最大級なんです。佐藤工業はこれまで金町浄水場のさまざまな工事にかかわっていて、同規模の工事は、これが最後となります。先輩たちが今まで築き上げてきたお客様との信頼関係を引継ぎ、すべての期待に応えられるようにと意気込んでいます。

——勝又さんがこの業界を目指したきっかけを教えてください。

学生のとき、マンションの建築現場のアルバイトをしたのですが、それがたまたま佐藤工業の現場だったんです。非常に緊張感があつて、現場監督さんもやさしくとても印象がよかったです。それをきっかけに土木の仕事に進むことを真剣に考えました。

佐藤工業の創業は文久2年と歴史があり、数々の困難な現場を数多く手掛け、トンネル工事に關しては業界トップクラス。もともとトンネル工事も興味があつ

たので就職を決めました。

社会貢献とものづくりを  
体感できる喜び

——入社されて、実際にトンネルの工事に携わることはあつたのですか？

インタビュー  
関根 健さん  
生産工学部土木工学科2年



## Tetsuya Katsumata

◆プロフィール  
勝又 哲也(かつまた・てつや)  
昭和43年静岡県生まれ。本学卒業後、佐藤工業(株)に入社。シールドトンネル工事、地下鉄工事など数多くの現場を経て、現在、金町浄水場送配水ポンプ所(仮称)場内連絡管新設工事所長を務める。趣味はゴルフ。夢は「手塩にかけて育てた部下たちが、羽ばたく姿を見ること」だそう。

はい、今まで7本やつてきました。やっぱりトンネルには男のロマンがありますよ！山をひたすら掘るといのは単純な作業に見えるかもしれませんが、自然が相手ですから、その表情はころころ変わる。山の声を聞きながら行う作業はなかなか一筋縄ではいかないものです。

いかにハードそうですね。なにか思い出深い出来事はありますか？  
私が32歳のころ、現場監督として神奈川県宮ヶ瀬トンネルの工事を担当しました。トンネルボーリングマシンで岩盤を掘削していったのですが、断層破砕帯を突破するときに地山とのマシンの拘束や大出水が発生しました。

遅くまでみんなで一生懸命がんばった現場ですから、それは何とも言いたい思いがありました。  
コミュニケーション能力がすべての要  
——勝又さんは所長さんですが、現場を指揮する立場として大切にしていることは何ですか？  
現場を指揮するうえで必要なのは、まずお客様のニーズを正確に捉え、それに必要となる課題についていかに創意工夫を持って対処出来るかが鍵です。企業価値をアピール出来る場面でもありません。今は、「考える」をできない人がとても多い。現場は、個の集まりであり個が考え始めたとしても大きな力になるんです。そのなかで、私が常に心がけているのは1・お客様に対して常に



工事主任として、管理をまかされた現場。毎日が楽しくて、現場に行くのが楽しみだった。  
※写真は、シールド坑内にて現場関係者と撮影したもの。入社6年目撮影

誠実であること。2・現場は生き物。本質を見極めてその都度冷静にジャッジすること。3・現場の力を大切にすること。限りある1人の力でも知恵を持った集団になれば無限の力となる。4・先を読む力を養うこと。この4つです。

は人前に立つとそれはもう大変。朝礼では100人以上いる作業員さんの前で話すんだから、もうドキドキしてね(笑)。でも、それも慣れるもので、そのうち面白くなってくる。

れませんが、その状況を持続するのはまだまだ厳しい状況にあると思います。また、熟練工が高齢化して慢性的な人手不足であることも頭の痛い問題と言えるでしょう。今後は、事業基盤をしっかりと整えつつ、個の力を最大限発揮できる風土作りや、自社独自の保有技術・新技術を生かした建設需要への取り組みが必要になってくると考えています。

た施設や建築物を見たときのような感じをぜひ体感してほしいですね！  
——土木の仕事がより具体的に感じられ、視野が広がりました。どうもありがとうございました。

今の金町浄水場の工事は4年間の長期プロジェクトなのですが、工事が始まる前からすでに4年間のイメージは湧いています。工事が進むうち、その方向がぶれる場合もあるので、悪い方向に行かないようにベクトルを戻してやるのが所長の役目だと考えています。何か起きてから対処することもありませんが、先を読んで「起きる前にカバーする」ことも技術だと思っております。だから、所長業というのは24時間、なかなか気が休まらないんです。

人に物を伝えるときに大切なのは、論旨がずれないこと。お客様に接する立場として、論旨がずれると何も伝わらない。論旨がしっかりしていれば、仕事はスピーディーに進みます。また、相手の気持ちや察して会話する能力も、お客様と接する仕事には大切ですね。これは、学生時代に日頃から意識して、先生方や友達と接することで練習できると思います。勉強も大切だけど、学生時代には人間的関係を築くこともとても大切。思いやりを持って、いろいろな人と積極的に関わってみてください。

土木業界に向いている資質というのがあるのでしょうか？  
また、土木に興味を持つ後輩にメッセージをお願いします。  
いろいろなタイプの人がいていいと思うんです。でも、どちらかというと気性が荒いくらいの方がいいかもしれませんね。私が会社に入ったころは、ヘルメットを投げつけられたりしましたから(笑)。まあ、今はそんなことありませんけど。

初めてのシールド現場で、見るものが新鮮で日々勉強の毎日。  
※写真は、土砂を切削・取込むためのシールド機面板。入社3年目撮影



### インタビューを終えて

勝又さんのお話をうかがって感じたことは、「思いやりの心とコミュニケーション力の大切さ」です。技術力は高いがまとまりのない集団よりも、限りある一人の力でも知恵を持った集団になれば無限の力となる。なによりも人を大切に、思いやりの心を常に持って人と接するというのがとても印象的でした。一つの仕事に対して会社全体が結束して取り組むことが出来る環境があるからこそ、最高の仕事が出来ると感じました。

また、学生時代の人間関係の構築が、社会で必要なコミュニケーション力に繋がるという勝又さんのお話を聞き、これから様々な人と交流する機会を増やしながら、身の周りの人々を大切に将来につながるよう、一日一日を過ごしていこうと思いました。

なるほど、誠実さ・判断力・結束力・先を読む力ですね！お客様や作業員とのやり取りには、コミュニケーション力が欠かせないと思うのですが、勝又さんは最初からうまくできましたか？僕はすぐに緊張してしまっているのですが…

はい、がんばります！勝又さんは、現在の土木業界の状況をどう見ていらっしゃいますか？  
アベノミクスの影響で改善の兆しも見えています。長年にわたる不況の影響で、企業としての耐力は確実に消耗していると思います。東京オリンピックが予定され、中期的にはよくなるかも

あとは、この世界が好きであること。やはり好きで始めたことは長続きしますからね。  
社会貢献ができる土木の仕事はとても充実感があります。貢献できることへの感謝と、出来上がっ



### 先輩に INTERVIEW インタビュー

安全で安心して暮らせる  
街づくりを通して  
人の役に立てる喜びが  
仕事への原動力に

加賀田組新潟支店  
作業所長  
小野 学さん  
平成元年  
工学部土木工学科卒業

私が取り組んでいるのは、環境配慮型の街づくりをコンセプトにしたエコタウンの土地画造成工事です。高速道路のスマートインターチェンジが設置される利便性の高い土地を造成し、240区画の宅地、商業エリア、医療モールのエリア、公園などをバランスよく配置。ソーラーパネルによる蓄電・売電が可能な設備を備えた、防災能力が高く、安全に暮らせる街づくりを計画進行中です。



多くの人々の生活に安全や安心を実現するためのさまざまな土木事業。仕事としてかかわったそれぞれの現場には、強い思い入れがある

宅地造成の仕事の特徴は、交渉窓口が多いこと。地盤を改良して造成することはもとより、上下水道・ガス・電気・電話などのライフラインを整備するため、水道は水道局、下水道は下水道施設の管理センター、ガスはガス会社と、日々たくさんの対外交渉が必要になります。これをどうこなすかが、工事をスムーズに進める鍵になるのです。といっても、私自身民間の造成工事は初めての経験。エコタウンはわが社の新しい主軸となる事業でもあるので、この仕事を成功させて次の現場に生かしたいと日々奮闘中です。

これまでは、橋梁、道路、砂防ダム、災害復旧工事など、官庁工事を数多く経験してきました。なかでも印象深いのは、平成16年に起こった「新潟県中越地震」の災害復旧工事です。復旧

要請があった場所は冬には4メートルも雪が積もる豪雪地帯。亀裂や土砂で通れなくなった道を早く復旧しないと、雪の重みで家が潰れるからと、作業員たちと必死に工事を進めました。道路が復旧したとき、地元の方が拝むように感謝してくださって、「こんな自分でも人の役に立てるのだ」とあらためて仕事のやり甲斐を感じました。

地震、河川の氾濫、雪害などの自然災害の現場でも、復旧のために第一線で働けるのが土木の仕事。工事が終わってしばらくしても、ふと気になって家族を連れて見に行くこともあるんですよ。そこでみなさんが安全に笑顔で暮らしている姿を見ると、心が熱くなるんです。



Manabu Ono

現在手がける新潟市の「西野中野山土地画整備事業」の造成地では、エコタウンとしての街の全貌が徐々に形となってきた

◆プロフィール  
小野 学(おの・まなぶ) 昭和42年新潟県生まれ。土木業界で職人と働く父親の姿に影響を受け、本学卒業後、加賀田組へ入社。橋梁、道路、砂防ダム、災害復旧工事などを経験し、現在「西野中野山土地画整備事業」所長を務める。毎年恒例、加賀田組の日本大学出身者が集うゴルフコンペ・温泉旅行は、小野さんが楽しみにしているイベントのひとつ。

Hiroki Hayashi

千葉県県土整備部  
手賀沼下水道事務所 技師  
林 大貴さん  
平成23年  
生産工学部土木工学科卒業



施設の維持管理を行っている1日平均約198,000立方メートルの下水を処理する手賀沼終末処理場にて

大学時代、土木工学科の授業で、ダムや高速道路の現場を見学する研修がありました。そのとき、仕事のスケールの大きさに感動し、自分も何か大きなものを

造って将来自分の子どもに自慢できたいなと思ったのです。それがこの仕事に進むきっかけでした。民間企業ではなく、県の職員を選んだのは、計画、設計の段階から施工、そして実際に供用されるまで、一貫してひとつの仕事に携わることができるところに

魅力を感じたからです。現在は、道路、河川、下水道など土木全般を管轄している県土整備部に所属しており、千葉県手賀沼下水道事務所に勤務しています。

柏市、我孫子市をはじめ、7市の下水を浄化して利根川に放流している手賀沼終末処理場や下水道管の維持管理が主な業務です。

今、千葉県では新しい構造物を造る仕事は少なくなっており、東日本大震災以降、耐震補強工事をはじめとした既存の構造物の修繕、維持管理などの仕事メインになっています。

工事の説明会などで住民の方と接する機会もあります。その際には、なるべく専門用語を使わず、わかりやすく丁寧に伝えるよう心がけています。そのためには説明力が必要ですし、そもそも自分自身でも工事内容を正確に理解しておかなければ、うまく説明することはできません。

この業界を目指すのであれば、2級土木施工管理技士や、技術士補の1次試験など、学生のうちに取得できる資格は取っておくことをお勧めします。公務員では

ふだんは目に触れずとも  
なくてはならない下水道を通じて  
住民の暮らしを支える



ふだん目にする機会  
は少ないが、インフラ  
として必要不可欠な  
下水道を支えている  
という自負が自分を  
支えている

◆プロフィール  
林 大貴(はやし・ひろき) 平成元年千葉県生まれ。本学卒業後、千葉県庁入庁。小学2年生から野球を続け、在学中は生産工学部硬式野球部でも活躍。入庁後しばらくプランクがあったが、最近、県庁野球部に所属して再開した。

土木というイメージが強いのですが、千葉県の土木関連職員のうち、同世代では1割ほどは女性です。男女の別なく活躍できる職場ですので、興味がある女子学生の方には、進路の一つとして考えてもらいたいですね。



土木  
の仕事

書籍紹介



箱根駅伝 青春群像

著者/佐藤三武朗

国際関係学部長・陸上競技部部长  
昭和49年大学院文学研究科博士後期課程修了

●発行/講談社 価格1,600円(税別)

正月の風物詩として欠かせない存在となっている「箱根駅伝」。著者は11年間勝利を目指して箱根駅伝を戦い続けてきた陸上競技部部长であり、長年多くの選手の間をつぶさに観察してきた。その経験から箱根駅伝は単なるスポーツにとどまらず、総合芸術や神事にまで昇華されていると思いついたという。本書はその神髄を余すことなく伝えようと、実際のレースを軸に描いた感動と涙の物語である。



落語こてんコテン

著者/柳家喬太郎

落語家  
昭和62年商学部経営学科卒業

●発行/筑摩書房 価格1,700円(税別)

古典、新作ともに高い評価を受けている当代きっての人気落語家が、艶喃、地喃、怪談喃に講談ネタ、人情喃に大ネタまで五十席について、古典落語の魅力を演じる立場で語ったエッセイ集。著者がいつか演りたい、もういちど聴きたいという喃を取り上げ、あらすじから聞き所、演じ手の苦心など、エピソードもたっぴりと交えて、落語の世界に誘ってくれる。本書を読めば、きっと寄席に足を運んでみたくなるに違いない。



あかんやつら 東映京都撮影所血風録

著者/春日太一

映画史・時代劇研究家  
平成8年大学院芸術学研究科博士後期課程修了

●発行/文藝春秋 価格1,850円(税別)

照明、美術、殺陣師、監督などスターを輝かせるために奔走した裏方・職人たちへの取材を続けること10年。「映画よりも熱く、面白い」太秦・東映京都撮影所の舞台裏を描く。『忠臣蔵』への執念を抱き続けたマキノ光雄、撮影所の〈天皇〉〈法皇〉〈御大〉、中村錦之助と時代劇ブーム、スターの栄枯盛衰、任侠映画と『仁義なき戦い』、そしていつか狂い出す歯車……。ページをめくる手が止まらないノンストップ・ノンフィクション。



住んでみたドイツ 8勝2敗で日本の勝ち (講談社+α新書)

著者/川口マーン恵美

作家・拓殖大学日本文化研究所客員教授  
昭和54年芸術学部音楽学科卒業

●発行/講談社 価格838円(税別)

不便で窮屈なドイツ、日本人は世界一の楽園に住んでいた!? ドイツ在住30年、現地で結婚し、3人の子供を育てた著者による空前絶後の日独比較論。日本人が憧れるヨーロッパ、中でも勤勉で日本に近いとされるドイツに対しては、不思議な愛憎感情を抱いている。「小学5年生で人生が決まるドイツ」「サービス皆無のドイツ鉄道」などずっと羨ましいと思ってきた国の意外な実情から、日本の長所が相対的に浮き彫りになる。



先輩に INTERVIEW インタビュー



Shinji Kitazawa

◆プロフィール  
北澤 伸二(きたざわ・しんじ) 昭和49年千葉県生まれ。本学卒業後、村本建設株式会社入社。数々の工事現場で活躍。国道4号線における宇都宮の砂田高架橋耐震補強工事では、国土交通省関東地方整備局から平成23年度の優良工事として表彰を受けた。



子どものころから父親が運転するトラックに同乗。工事現場は身近な存在だったという

私の仕事をわかりやすく言えば、土木工事の現場監督です。会社や工事の規模によっても異なると思いますが、現場監督にも3段階ほど業務のステップがあります。最初は測量や作業員への指示が中心の現場員、それを5〜6年経験すると、次に計画・工程管理なども任される工事主任、その上に原価管理などのマネジメント要素も入ってくる現場所長と、経験を積むことにステップアップしていきます。

会社に入ってから、これまで12カ所ほどの現場を経験してきました。1年工期の現場が多いのですが、さまざまな事情で工期が延びることがあり、同じ現場に1年半ほどいることも度々あります。大規模な工事では、これまで最長4年という現場もありました。

工事中は、施主との折衝や、土中から予期せぬ埋設物が出てくるといった突発的な出来事も多く、ストレスを感じますが、工事が完成したときの感動は大きいですね。自分が手がけた工事は、個人的にも写真に残すようにしていて、「去年はこれを造りました」と年賀状に使っています(笑)。



現在は工事現場の管理主任技術者として、三重県の国道23号線にかかる「鈴鹿大橋」の耐震補強工事に取り組んでいる

村本建設株式会社  
現場所長  
北澤 伸二さん  
平成9年  
理工学部土木工学科卒業

ないと仕事にならないし、話が進んでいきません。土木業界を目指すのなら、土木の勉強も大事ですが、可能な限り人と接して、会話能力やプレゼンテーション能力を磨いてほしいと思います。

土木工事にもいろいろな種類がありますが、どこの現場に行っても環境や条件が違います。初めての事例ばかりで、一つとして同じ現場はありません。とにかくつかいスケールの仕事を手がけたいですね。

この仕事で心がけていることは、とにかく現場を止めないことです。段取りを少しでも間違えると、現場の作業はストップしてしまいます。そうなるより工期も延び、お金も無駄になりますから。

結局、この仕事でも大切なのはコミュニケーションです。顧客や業者に対して、自分の考えを伝えられ

現場を止めることなく  
万全の準備で工事を進行  
完成後の感動が  
次への活力を生み出す

台湾日本大学校友会

日本大学校友会 愛媛県支部



台湾日本大学校友会創立十周年記念慶典(台北・アンバサダーホテル)



台湾校友会に校友会旗を贈呈

本学には古くから台湾の留学生が学んでおり、明治時代、すでに校友会的組織があったといわれています。確かな記録として一番古いと思われるのは、昭和15(1940)年に開かれた「日本大学台湾同郷会大会」です。

校友会の名称が正式に使われ始めたのは昭和35(1960)年のことで、この時、「日本大学台湾校友会」として発足しています。その後、何度か名称を変え、平成15(2003)年に現在の台湾日本大学校友会になりました。昨年、10周年を迎え、その記念式典を日本から田中英壽校友会会長理事長や大塚吉兵衛学長らをお招きし、盛大に行いました。

現在の会員は160名。活動は年2回の理事会と年に1回の全員大会を中心

心に、旅行を兼ねた懇親会やさまざまな分野の専門家を招いての講演会などを行っています。また、プライベートで校友同士が懇親を深めています。ビジネス上の繋がりも強く、例えば旅行に行く時は校友がいる旅行会社にお願したり、ちょっとしたことを助け合ったりして、絆は固いものがあります。

今後は台湾からの留学生をもっと増やしたいと思っています。そのために私たちは喜んで手助けをしますし、ひいては彼らに校友会に入ってもらい、もっと会を盛り上げたいと考えています。

また、台湾に駐在している日本人の校友も多いと思いますので、そんなみなさんとも交流を深めていきたいと願っています。ぜひ、ご連絡をください。



徐淵静理事長(中央)

昭和46年生産工学部土木学科卒業  
昭和56年大学院理工学研究科修了(工学博士)

◆プロフィール  
徐淵静(シュー・ユアン・ジン) 台北市生まれ。本学生産工学部を卒業後、大学院へと進み、修了後、国立台湾大学講師として奉職。その後、副教授、教授となり、国立交通大学へ副教授として異動。教授を経て所長に就任する。現在、中国科技大学教授として教鞭をとる。(左は事務局長の楊文輝さん、右は副事務局長の林廷隆さん)



平成25年度愛媛県支部総会・懇親会(松山全日空ホテル)



総会で挨拶する須之内支部長

当支部が発足したのは昭和30年代だったと聞いております。ただ、それ以前から、桜工会や角笛会など、学部ごとの交流が盛んに行われてきており、現在も各学部が親睦会や忘年会、東京などから講師を招いての講演会、懇親ゴルフ会を行っています。一方、支部は、年1回の総会と懇親会を行い、昨年から懇親ゴルフコンペも開いていますから、校友の交流は確かに熱心だといえるでしょう。

どうしてこんなに活発なのかと聞かれることがあります。ひとつは母校から距離的に遠いことが挙げられるようです。それが愛校心をかえって高めることになり、横の繋がりを強めていると感じます。うれしいのは、その絆がビジネス上にも反映されていること。特に土木

分野では力を発揮しているようです。これからの目標としては、四国4県の校友会が集う大会を愛媛で開催してほしいと思っています。伊予はずなわち愛媛を意味してありましたことから、四国の校友が一堂に会して懇親を深めるにはふさわしい地ではないかと考えている次第です。

また、学生相撲の重要な大会である宇和島大会での応援を充実させたいと思っています。現在、本学出身の遠藤が大相撲で活躍しておりますが、次の遠藤が本学からぜひ生まれてほしいもの。当支部を挙げて応援することが、少しでもその力になればと願っています。



須之内 淳二支部長(右から4人目)

昭和36年歯学部歯学科卒業

◆プロフィール  
須之内 淳二(すのうち・じゅんじ) 昭和7年愛媛県生まれ。本学卒業後、日本大学大学院歯学研究科修了後、本学歯学部講師などを経て、昭和41年、松山市で開業。愛媛県歯科医師会、日本歯科医師会ほか、医療関係の団体で理事長や理事、会長などの要職を務める一方、松山西ロータリークラブや国際ロータリーで活動。現在、医療法人淳和会理事長を務める。勲五等双光旭日章をはじめ褒章、表彰多数。(右から獣医学科校友会角笛会愛媛県支部長の中川治さん、愛媛県校友会副支部長の濱本道夫さん、同副支部長の北村一明さん、同常任委員の日野裕三さん、愛媛県桜工会前会長の亀井利貞さん、松戸歯学部四国支部評議員の末光賢次さん)

## 台湾日本大学校友会創立10周年 田中校友会会長、大塚学長を迎え台北市で記念式典

世界6カ国8都市にある校友会の海外特別支部のひとつ、台湾日本大学校友会が創立10周年を迎え、記念式典が昨年11月9日午後6時から台北市のアンバサダーホテルで盛大に行われました。これを祝い、本学から田中英壽校友会会長(理事長)、大塚吉兵衛学長をはじめ、ゆかりのある4学部長、校友会副会長ら30名を超える関係者が出席。台湾日本大学校友会の徐淵静理事長をはじめ、55名の校友やその関係者のみなさんから熱い歓迎を受けました。

式典では徐理事長が「海を越えて、相互の絆を強めていこう」とあいさつ。今年93歳を迎えた校友最長老の李良吉さんや台湾ホテル旅館組合の理事長である徐銀樹さんら、長年にわたって校友会活動に貢献してきた校友を表彰。また同校友会から本学創立130周年記念事業へ寄付金が贈呈されました。これを受けて田中校友会会長、大塚学長がそれぞれ10周年へのお祝いの言葉と共に今後の本学の構想、台湾からの留学生への期待などを述べ、会場から大きな拍手が送られました。

式典の後に開かれた懇親会では台湾の校友と国際結婚した日本人女性による日本舞踊や台湾の原住民による民族舞踊などが披露されました。出席者同士、国境を越えて大いに歓談し、相互の絆を強めていました。



記念式典で挨拶する徐理事長



台湾の名所・故宮博物館



さらなる結束を誓って乾杯



校友最長老の李良吉さん(写真左)と台湾ホテル旅館組合理事長の徐銀樹さんを表彰



日本大学創立130周年記念事業募金として100万円を寄贈



懇親会では台湾の民族舞踊も披露された



校友会発足当時の記念写真(1960年)



現在の台湾日本大学校友会成立大会(2003年)

## 平成25年度全国校友大会

日本大学全国校友大会が、昨年11月11日午後6時から、東京ドームホテル(東京都文京区)「天空」で開かれ、全国から集まった校友や大学関係者など約850人が参加しました。この大会は、校友と大学関係者が一堂に会し、「絆」を深め、大学の発展に寄与することを目的に毎年開かれています。

東京都議会議員で元テレビ朝日アナウンサー・川松真一朗さん(平成15年法卒)の司会で進められた宴は、校歌斉唱の後、田村榮一大会実行委員長の辞で開会。大会会長の田中英壽校友会会長のあいさつの後、来賓代表として大塚学長からお祝いの言葉がありました。そして、衆議院議員・小沢一郎氏の発声で乾杯が行われると、大会は佳境に。応援リーダー部・ディッパーズの軽快な演技が繰り広げられる中、にぎやかに歓談が続き、参加した校友は互いの絆を深めていました。



全国から集まった校友など850人を前に田中校友会会長があいさつ



衆議院議員小沢一郎氏の発声で乾杯



10団体12人を表彰、大塚学長から各賞が贈られた

- |       |                      |   |
|-------|----------------------|---|
| ビデオ発表 | ●校友会会長賞              | 芸術学部(30万円)                                      |
|       | ●校友会特別賞              | 法学部、経済学部、商学部、理工学部、工学部、歯学部、松戸歯学部、薬学部、通信教育部(各5万円) |
| 絵画    | ●校友会会長賞              | 宮崎日大高校3年 國嶋紗季(5万円)                              |
|       | ●校友会特別賞              | ①土浦日大中等教育学校5年 横山美羽(1万円)                         |
|       |                      | ②宮崎日大高校2年 押川紗織(1万円)                             |
|       |                      | ③国際関係学部2年 生頼麻子(1万円)                             |
|       |                      | ④土浦日大中等教育学校6年 湯浅知夏(1万円)                         |
|       | ⑤日大高校2年 濱田結衣(1万円)    |   |
| 書道    | ●校友会会長賞              | 文理学部3年 秋山ひかり(5万円)                               |
|       | ●校友会特別賞              | ①日大三島高校3年 望月明日香(1万円)                            |
|       |                      | ②日大櫻丘高校2年 南部有美(1万円)                             |
|       |                      | ③日大三島高校3年 高嶋日奈子(1万円)                            |
|       |                      | ④宮崎日大高校3年 山之内明里(1万円)                            |
|       | ⑤国際関係学部2年 勝海友理子(1万円) |   |

## NU祭表彰式

日本大学及び付属高等学校等が参加した平成25年度全学文化行事「平成25年度NU祭」の表彰式が、昨年11月30日に日本大会館で、学生・生徒や大学関係者約400人が出席して行われました。日本大学校友会では、昨年5月から半年間にわたって繰り広げられたNU祭に、学生・生徒の創作活動を支援する目的で協力してきました。また、各部門に「校友会会長賞」と「校友会特別賞」の2賞を設け、受賞者には奨学金(総額95万円)を授与し、創作意欲の向上と創作活動の支援を図っています。

各部門の「校友会会長賞」「校友会特別賞」は左記のとおり。(敬称略)



# Information

## ●インフォメーション

### ◎本誌への情報提供、

ご意見、お問い合わせは…

この会報は、会員相互のコミュニケーションを深めていただくことを目的に、1人でも多くの校友や在学生の紹介記事を発表しています。お店やお宿を経営している方、ユニークな先輩や後輩をご存じの方、自分を紹介してほしいなど、自薦他薦は問いませんので、事務局までお知らせください。

### ◎住所・勤務先が変わったら…

住所、勤務先等に変更がございましたら、必ず事務局までお知らせください。電話、FAX、メールいずれの方法でも結構です。

### ◎会員証を紛失されたら…

会員証を紛失された際は事務局までご連絡ください。再発行いたします。

### ◎新規会員を紹介したい…

新規に会員希望の方をご存じの方は、事務局までご連絡ください。資料を送付いたします。

### 1 封筒、はがきで

〒102-0076  
東京都千代田区五番町2-6  
日本大学校門会館  
日本大学校友会本部事務局校友課『桜縁』係

### 2 電話、ファクシミリで

TEL 03-5275-9300  
FAX 03-5275-9122

### 3 電子メールで

E-mail: koyu@nihon-u.ac.jp

### 次号「桜縁」第25号は

#### 7月下旬に発行予定です!

さらに内容を充実させて皆さんにお届けいたしますので、どうぞお楽しみに!

皆さんの周りで「桜縁」に掲載できる方がいれば、koyu@nihon-u.ac.jpまでご連絡ください。

また、「桜縁」は会報誌ですので、会員の皆さんの交流の場として活用したいと思っています。たとえば、写真愛好家の皆さんが撮影した写真を掲載するなどです。もし、ご希望がある場合には上記メールアドレスにご連絡ください。

## 桜縁 No.24 平成26年1月発行

編集・発行 日本大学校友会  
〒102-0076 東京都千代田区五番町2-6 日本大学校門会館  
TEL 03-5275-9300 FAX 03-5275-9122

### ■広報委員会

委員長: 綾部 東洋子  
委員: 石 光 井上 開陽雄 内田 章  
小橋 恵津 萩原 正芳 茂木 完仁  
齋藤 正道 高橋 浩 三橋 満  
石田 秀樹 米崎 寛



# Present ●桜縁No.24

## 読者プレゼント

巻末のアンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントを差し上げます。ご希望の賞品番号をアンケートはがきにご記入のうえ、ご応募ください。なお、当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

### 01 春風亭一之輔著 『一之輔、高座に粗忽の釘を打つ』

抽選で  
**3名**さまに



### 08 音楽CD『祈り～未来への歌声』 海上自衛隊東京音楽隊・三宅由佳莉

抽選で  
**3名**さまに



### 02 落語CD 『春風亭一之輔 ／初天神・青菜』

抽選で  
**3名**さまに



### 09 伊勢神宮 学業御守

抽選で  
**3名**さまに



### 03 元祖爆笑王編著 『お笑い芸人直伝! 鉄板フレーズ100選』

抽選で  
**3名**さまに



### 10 栃木県名産 大谷石プレート ギフトセット

抽選で  
**3名**さまに



### 04 太田プロライブ 『月笑』入場券

抽選で  
**3名**さまに



### 11 佐藤三武郎著 『箱根駅伝 青春群像』

抽選で  
**10名**さまに



### 05 地蔵庵 特製焼酎「地蔵庵」

抽選で  
**3名**さまに



### 12 柳家喬太郎著 『落語こてんコテン』

抽選で  
**3名**さまに



### 06 地蔵庵 お地藏さま人形

抽選で  
**3名**さまに



### 13 春日太一著 『あかんやつら 東映京都撮影所 血風録』

抽選で  
**3名**さまに



### 07 地蔵庵 宿泊(1泊2食付) 13,000円相当

抽選で  
**3名**さまに



### 14 川口マーン恵美著 『住んでみたドイツ 8勝2敗で 日本の勝ち』

抽選で  
**3名**さまに



### 編集後記

式年遷宮で沸く三重県伊勢市。内宮に参拝しようとする駅からタクシーに乗る。観光地のタクシー運転手ならではの観光地案内が始まった。見える景色、進む道によって、話題が変わっていく。年に一度、日本全国の神様が伊勢に集まること。その集まった神様が道に迷わないように道案内をする神様がいること。おれに「神宮」と書くことができるのは伊勢神宮だけであること。そして、降りる際に本殿ではお願い事はせぬよう、日頃の感謝を申し上げてくださいと教えられた。いろいろな神社に参ることはあるがその都度お願い事はかりしていた。軽いショックを受けた。そして、日頃の感謝で最初に頭に浮かんだのは「健康であること」。その日の参拝は、健康であることにお礼を申し上げてきた。

今回の特集は「笑うこと」。いい笑いを提供したり、提供されたり。いつまでも笑いながら健康に。

(H)